

## 平成 23 年度第 2 回経営企画会議

日時：9 月 22 日（木）15：00～18：00

場所：東京大学理学部 1 号館 843 教室

出席（予定）：木村、濱野、大谷、川幡、中村、大村(遅)、西、田近、加藤(遅)

欠席（予定）：津田、石渡

※TV 会議アドレス：133.11.228.10

議題：

- |                                                |         |
|------------------------------------------------|---------|
| 1. 選挙関連                                        | 資料.     |
| 今後の日程（セクションプレジデント日程確認含む）                       | P 1-7   |
| 代議員立候補者リスト                                     |         |
| 代議員選挙投票システム、ほか                                 |         |
| 2. 2012大会準備について                                |         |
| 日程                                             | P 8-9   |
| セッション受付状況                                      |         |
| 2012年大会の講演実施案概要（プログラム局）                        | P 10    |
| " 会場使用案、時間割案                                   | P 11-12 |
| " コンビーナガイドライン                                  | P 13-18 |
| " 参加料金設定（確認）                                   | P 19    |
| ジオパークセッション開催方法について                             |         |
| 参考資料 「ジオパーク」「日本ジオパーク委員会公開審査に関して」               | P 20-22 |
| 参考資料 2011年大会会場アンケート                            | P 23-30 |
| 3. 新WEBサイト立ち上げ 報告                              |         |
| リニューアル 連合トップページイメージ                            | P 31    |
| 4. 義捐金執行方針                                     |         |
| 会議碌抜粋、情報提供など                                   | P 32    |
| 5. ジャーナル関連                                     |         |
| Open Access で掲載された論文の取扱いについて<br>（ライセンス）の回答、他資料 | P 33-36 |
| 6. JpGU (JPGU) 商標登録取得について                      |         |
| 関連資料、経費                                        | P 37-38 |
| 7. 公益認定申請状況                                    |         |
| 今後の日程、申請書審査結果                                  | P 39-40 |
| 8. その他                                         |         |
| 財務諸表（正味財産増減計算書、収支予算内訳書）                        | 別添      |



# 2011 年選挙実施状況報告

## 日程確認、承認

### 【代議員選挙日程】

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 公示       | 2011年 8月 3日 (水) |
| 立候補等受付開始 | 2011年 8月15日 (月) |
| 立候補等受付締切 | 2011年 9月15日 (木) |
| 投票開始     | 2011年 9月29日 (木) |
| 投票締切     | 2011年10月28日 (金) |
| 開票、結果報告  | 2011年11月 4日 (金) |

### 【セクションプレジデント選挙日程 (案)】

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 公示      | 2011年11月 4日 (金) |
| 候補者受付開始 | 2011年11月 7日 (月) |
| 候補者受付締切 | 2011年11月18日 (金) |
| 投票開始    | 2011年11月28日 (月) |
| 投票締切    | 2011年12月19日 (月) |
| 開票、結果報告 | 2011年12月22日 (木) |

## 代議員選挙 候補者受付状況 (セクション別 ID 順) 選挙管理委員会 9/26 (月) 13:00 にて正式承認

### 【宇宙惑星科学】 (定員15)

|    |        |                        |
|----|--------|------------------------|
| 1  | 佐々木 晶  | 国立天文台                  |
| 2  | 渡邊 誠一郎 | 名古屋大学                  |
| 3  | 中村 昭子  | 神戸大学                   |
| 4  | 長妻 努   | 独立行政法人 情報通信研究機構        |
| 5  | 大村 善治  | 京都大学生存圏研究所             |
| 6  | 中村 正人  | 宇宙科学研究所                |
| 7  | 小嶋 浩嗣  | 京都大学生存圏研究所             |
| 8  | 高橋 幸弘  | 北海道大学                  |
| 9  | 田近 英一  | 東京大学                   |
| 10 | 込本 尚義  | 北海道大学 理学研究院 自然史科学      |
| 11 | 藤本 正樹  | JAXA 宇宙科学研究所           |
| 12 | 渡部 潤一  | 自然科学研究機構 国立天文台         |
| 13 | 藤井 良一  | 名古屋大学                  |
| 14 | 永原 裕子  | 東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 |
| 15 | 中本 泰史  | 東京工業大学                 |
| 16 | 海老原 充  | 首都大学東京                 |

### 【大会海洋・環境科学】 (定員18)

|   |       |               |
|---|-------|---------------|
| 1 | 角皆 潤  | 北海道大学大学院理学研究院 |
| 2 | 村山 泰啓 | (独)情報通信研究機構   |
| 3 | 吉田 尚弘 | 東京工業大学        |
| 4 | 蒲生 俊敬 | 東京大学大気海洋研究所   |
| 5 | 北 和之  | 茨城大学理学部       |
| 6 | 津田 敏隆 | 京都大学生存圏研究所    |
| 7 | 多田 隆治 | 東京大学大学院理学系研究科 |

|    |        |                                             |
|----|--------|---------------------------------------------|
| 8  | 佐藤 薫   | 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻                       |
| 9  | 近藤 豊   | 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻                       |
| 10 | 日比谷 紀之 | 東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻                     |
| 11 | 原田 尚美  | 独立行政法人海洋研究開発機構                              |
| 12 | 嶋田 純   | 熊本大学大学院自然科学研究科                              |
| 13 | 大手 信人  | 東京大学大学院農学研究科                                |
| 14 | 杉田 倫明  | 筑波大学大学院生命環境科学研究科地球環境科学専攻                    |
| 15 | 知北 和久  | 北海道大学大学院理学研究院                               |
| 16 | 鈴木 啓助  | 信州大学                                        |
| 17 | 花輪 公雄  | 東北大学大学院理学研究科                                |
| 18 | 田中 博   | 筑波大学計算科学研究センター                              |
| 19 | 中島 映至  | 東京大学大気海洋研究所                                 |
| 20 | 沖 理子   | 宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙利用ミッション本部地球観測研究センター(EORC) |
| 21 | 河宮 未知生 | (独)海洋研究開発機構                                 |
| 22 | 山敷 庸亮  | 京都大学防災研究所                                   |
| 23 | 立川 康人  | 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻                      |
| 24 | 真木 雅之  | 防災科学技術研究所                                   |

【地球人間圏科学】（定員 13）

|    |        |                          |
|----|--------|--------------------------|
| 1  | 奥村 晃史  | 広島大学大学院文学研究科             |
| 2  | 鈴木 毅彦  | 首都大学東京都市環境学部             |
| 3  | 佐竹 健治  | 東京大学 地震研究所               |
| 4  | 須貝 俊彦  | 東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻 |
| 5  | 小口 高   | 東京大学・空間情報科学研究センター        |
| 6  | 小口 千明  | 埼玉大学地圏科学研究センター           |
| 7  | 松本 淳   | 首都大学東京                   |
| 8  | 海津 正倫  | 奈良大学                     |
| 9  | 渡部 芳夫  | 独立行政法人 産業技術総合研究所         |
| 10 | 島津 弘   | 立正大学                     |
| 11 | 安成 哲三  | 名古屋大学地球水循環研究センター         |
| 12 | 坂本 正徳  | 国学院大学 人間開発学部             |
| 13 | 氷見山 幸夫 | 北海道教育大学                  |
| 14 | 春山 成子  | 三重大学大学院生物資源学研究科          |
| 15 | 碓井 照子  | 奈良大学 文学部 地理学科            |
| 16 | 荒井 良雄  | 東京大学大学院総合文化研究科           |

【固体地球科学】（定員 29）

|    |        |                                   |
|----|--------|-----------------------------------|
| 1  | 谷岡 勇市郎 | 北海道大学大学院理学研究科地震火山研究観測センター         |
| 2  | 古屋 正人  | 北海道大学                             |
| 3  | 中田 節也  | 東京大学地震研究所                         |
| 4  | 松澤 暢   | 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター     |
| 5  | 田部井 隆雄 | 高知大学                              |
| 6  | 入船 徹男  | 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター              |
| 7  | 藤井 敏嗣  | 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構            |
| 8  | 大坪 俊通  | 一橋大学                              |
| 9  | 田中 愛幸  | 東京大学                              |
| 10 | 吾妻 崇   | 産総研 活断層・地震研究センター                  |
| 11 | 山崎 俊嗣  | 産業技術総合研究所 地質情報研究部門                |
| 12 | 宮下 純夫  | 新潟大学                              |
| 13 | 古村 孝志  | 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター／東京大学地震研究所 |

|    |           |                                    |
|----|-----------|------------------------------------|
| 14 | 鍵 裕之      | 東京大学                               |
| 15 | 竹村 恵二     | 京都大学 (理学研究科附属地球熱学研究施設)             |
| 16 | 歌田 久司     | 東京大学地震研究所                          |
| 17 | 大谷 栄治     | 東北大学理学研究科地学専攻                      |
| 18 | 深畑 幸俊     | 京都大学                               |
| 19 | 石渡 明      | 東北大学東北アジア研究センター                    |
| 20 | 加藤 照之     | 東京大学地震研究所                          |
| 21 | 木村 学      | 東京大学大学院理学系研究科                      |
| 22 | 川勝 均      | 東京大学地震研究所                          |
| 23 | 浜野 洋三     | 独立行政法人海洋研究開発機構                     |
| 24 | 金嶋 聡      | 九州大学 大学院理学研究院 地球惑星科学部門             |
| 25 | 公文 富士夫    | 信州大学理学部物質循環学科                      |
| 26 | 鈴木 勝彦     | 海洋研究開発機構                           |
| 27 | ウォリス サイモン | 名古屋大学                              |
| 28 | 宮崎 一博     | 産業技術総合研究所                          |
| 29 | 成瀬 元      | 千葉大学大学院理学研究科 (10月1日より京都大学大学院理学研究科) |
| 30 | 岩森 光      | 東京工業大学                             |
| 31 | 西村 裕一     | 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター        |

【地球生命科学】(定員 9)

|    |        |                               |
|----|--------|-------------------------------|
| 1  | 掛川 武   | 東北大学大学院                       |
| 2  | 井龍 康文  | 名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻地球惑星科学科 |
| 3  | 川幡 穂高  | 東京大学 大気海洋研究所                  |
| 4  | 西 弘嗣   | 東北大学総合学術博物館                   |
| 5  | 高橋 嘉夫  | 広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻       |
| 6  | 北村 晃寿  | 静岡大学理学部地球科学科                  |
| 7  | 小林 憲正  | 横浜国立大学                        |
| 8  | 大河内 直彦 | 海洋研究開発機構                      |
| 9  | 北里 洋   | 独立行政法人海洋研究開発機構                |
| 10 | 遠藤 一佳  | 東京大学                          |
| 11 | 真鍋 真   | 国立科学博物館                       |
| 12 | 山岸 明彦  | 東京薬科大学                        |

【地球惑星科学総合】(定員 12)

|    |        |                         |
|----|--------|-------------------------|
| 1  | 中川 貴司  | 海洋研究開発機構                |
| 2  | 瀧上 豊   | 関東学園大学                  |
| 3  | 熊谷 英憲  | 独) 海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 |
| 4  | 芝川 明義  | 大阪府立花園高等学校              |
| 5  | 山本 高司  | 川崎地質株式会社                |
| 6  | 佐野 有司  | 東京大学 大気海洋研究所            |
| 7  | 宮嶋 敏   | 埼玉県立深谷第一高等学校            |
| 8  | 古宇田 亮一 | 独立行政法人 産業技術総合研究所        |
| 9  | 阿部 國廣  | 無し                      |
| 10 | 畠山 正恒  | 聖光学院中学高等学校              |
| 11 | 矢島 道子  | 地質情報整備・活用機構             |
| 12 | 横山 広美  | 東京大学大学院理学系研究科           |

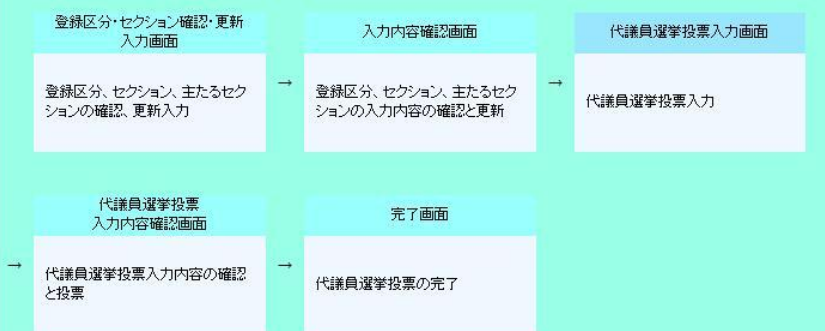
## 代議員選挙投票（9/29-10/28）【投票システム画面】

| <div data-bbox="178 284 481 320">日本地球惑星科学連合</div> <div data-bbox="456 340 697 362">日本地球惑星科学連合ログイン画面</div> <div data-bbox="164 378 989 629"> <p>ー 一般社団法人日本地球惑星科学連合会員登録のお勧めー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この画面から一般社団法人日本地球惑星科学連合会員登録新規登録を行うことができます。</li> <li>・一般社団法人日本地球惑星科学連合の活動にご賛同いただき会員登録を行っていただくようお願いいたします。</li> <li>・会員は年会費(2,000円、大学院生は1,000円、学部生、高校生以下は無料)の支払が必要ですが、大会参加登録についても会員料金が適用されます。</li> <li>・また会員になりますと、大会各種サービス、地球惑星科学研究に関する様々な情報サービスが受けられます。</li> </ul> <p>ー 大会会員登録ー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人日本地球惑星科学連合会員以外の方が、Webシステムを利用して連合大会のセッション提案、予稿原稿投稿、参加登録等を行っていただくためには、大会会員登録が必要です。</li> <li>・大会会員登録が完了すると、「ID」及び「パスワード」が発行されます。</li> <li>・IDとパスワードは、本システムのログインおよび各種登録、更新に必要ですので必ずお控え下さい。</li> <li>・一度大会会員を登録いただくと、そのIDでWebシステムにログインして今後の大会で各種登録、更新等を行うことができます。</li> </ul> </div> <div data-bbox="153 663 1002 1182"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連合会員未登録の方</th> <th>連合会員登録・大会会員登録がお済みの方<br/>(登録ID・パスワードをお持ちの方)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>新規会員登録申込の方はこのボタンをクリックして下さい。</p> <p><b>会員登録</b></p> <p>操作マニュアルはこちら</p> </td> <td> <p>代議員選挙のご投票は、こちらからログインしてください。</p> <p>登録ID: <input type="text"/></p> <p>パスワード: <input type="password"/></p> <p><b>ログイン</b></p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>ID・パスワードご不明の方はこちら <b>ID・パスワード問い合わせ</b></p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>連合会員以外の方</p> <p>「非会員として大会に参加・投稿される方」はこのボタンをクリックして下さい(新規の連合会員としての参加も可能です。その場合は、左上の会員登録ボタンをクリックして下さい)。</p> <p><b>非会員(大会会員)登録</b></p> <p>操作マニュアルはこちら</p> </td> </tr> </tbody> </table> </div> | 連合会員未登録の方                                                                                                                      | 連合会員登録・大会会員登録がお済みの方<br>(登録ID・パスワードをお持ちの方) | <p>新規会員登録申込の方はこのボタンをクリックして下さい。</p> <p><b>会員登録</b></p> <p>操作マニュアルはこちら</p> | <p>代議員選挙のご投票は、こちらからログインしてください。</p> <p>登録ID: <input type="text"/></p> <p>パスワード: <input type="password"/></p> <p><b>ログイン</b></p> | <p>ID・パスワードご不明の方はこちら <b>ID・パスワード問い合わせ</b></p> |  | <p>連合会員以外の方</p> <p>「非会員として大会に参加・投稿される方」はこのボタンをクリックして下さい(新規の連合会員としての参加も可能です。その場合は、左上の会員登録ボタンをクリックして下さい)。</p> <p><b>非会員(大会会員)登録</b></p> <p>操作マニュアルはこちら</p> |  | <p>ログイン画面<br/>投票期間中<br/>赤字で表示</p> |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------|------------|---------|--------|------|---------|----------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連合会員未登録の方                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 連合会員登録・大会会員登録がお済みの方<br>(登録ID・パスワードをお持ちの方)                                                                                      |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| <p>新規会員登録申込の方はこのボタンをクリックして下さい。</p> <p><b>会員登録</b></p> <p>操作マニュアルはこちら</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>代議員選挙のご投票は、こちらからログインしてください。</p> <p>登録ID: <input type="text"/></p> <p>パスワード: <input type="password"/></p> <p><b>ログイン</b></p> |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| <p>ID・パスワードご不明の方はこちら <b>ID・パスワード問い合わせ</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| <p>連合会員以外の方</p> <p>「非会員として大会に参加・投稿される方」はこのボタンをクリックして下さい(新規の連合会員としての参加も可能です。その場合は、左上の会員登録ボタンをクリックして下さい)。</p> <p><b>非会員(大会会員)登録</b></p> <p>操作マニュアルはこちら</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| <div data-bbox="178 1240 481 1276">日本地球惑星科学連合</div> <div data-bbox="432 1296 721 1319">日本地球惑星科学連合Webシステムメニュー</div> <div data-bbox="164 1335 316 1373"> <p>処理メニュー画面です。<br/>処理を選択してください。</p> </div> <div data-bbox="153 1404 1002 1995"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ログイン情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ID</td><td></td></tr> <tr><td>氏名</td><td></td></tr> <tr><td>E-mailアドレス</td><td></td></tr> <tr><td>所属機関正式名称</td><td>日本地球惑星科学連合</td></tr> <tr><td>種別・決済状況</td><td>正会員 一般</td></tr> <tr><td>登録区分</td><td>地球人間圏科学</td></tr> <tr><td>主たるセクション</td><td>地球人間圏科学</td></tr> </tbody> </table> <div data-bbox="523 1630 632 1650">代議員選挙投票</div> <div data-bbox="276 1686 343 1706">選挙投票</div> <div data-bbox="536 1686 619 1706">候補者名簿</div> <div data-bbox="794 1686 893 1706">選挙投票状況</div> <div data-bbox="256 1718 363 1738">操作マニュアル</div> <div data-bbox="523 1794 632 1814">システムメニュー</div> <div data-bbox="528 1850 627 1870">セッション提案</div> <div data-bbox="225 1906 387 1926">会員情報確認・更新</div> <div data-bbox="523 1906 647 1926">パスワード更新</div> <div data-bbox="794 1906 893 1926">会員種別変更</div> <div data-bbox="220 1937 395 1957">登録区分・セクション変更</div> <div data-bbox="504 1937 635 1957">ID登録情報検索</div> <div data-bbox="794 1937 893 1957">決済状況確認</div> <div data-bbox="225 1968 387 1989">プライバシーポリシー</div> <div data-bbox="504 1968 647 1989">会員 操作マニュアル</div> </div>                                                                                                                                                  | ログイン情報                                                                                                                         |                                           | ID                                                                       |                                                                                                                                | 氏名                                            |  | E-mailアドレス                                                                                                                                               |  | 所属機関正式名称                          | 日本地球惑星科学連合 | 種別・決済状況 | 正会員 一般 | 登録区分 | 地球人間圏科学 | 主たるセクション | 地球人間圏科学 | <p>ログイン後画面<br/>投票前<br/>「選挙投票」<br/>「候補者名簿」<br/>ボタン表示</p> <p>↓</p> <p>「選挙投票」<br/>を選択すると<br/>登録区分確認・<br/>変更画面へ進む</p> |
| ログイン情報                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| ID                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| 氏名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| E-mailアドレス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| 所属機関正式名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 日本地球惑星科学連合                                                                                                                     |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| 種別・決済状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 正会員 一般                                                                                                                         |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| 登録区分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 地球人間圏科学                                                                                                                        |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |
| 主たるセクション                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 地球人間圏科学                                                                                                                        |                                           |                                                                          |                                                                                                                                |                                               |  |                                                                                                                                                          |  |                                   |            |         |        |      |         |          |         |                                                                                                                   |

## 日本地球惑星科学連合

### 代議員選挙投票入力

- ・立候補者一覧から投票する立候補者を選択して投票欄にチェックして、「入力内容確認ボタン」をクリックして下さい。
- ・投票できる立候補者は5名以内です。1名も選択せずに投票を行った場合は、白紙投票となります。
- ・4名以下の立候補者に投票（白紙投票を含む）した場合でも、追加投票、再投票をすることができません。



### ログイン情報

|            |                        |
|------------|------------------------|
| ID         | 004453                 |
| 氏名         | Tanigami Mihoko        |
| E-mailアドレス | tanigami@jpgu.org      |
| 所属機関正式名称   | Japan Geoscience Union |
| 種別・決済状況    | 正会員 一般                 |
| 登録区分       | 地球惑星科学総合               |
| 主たるセクション   | 大気海洋・環境科学              |

### 代議員選挙立候補者一覧（地球惑星科学総合）

| 投票                       | 立候補者            |                     | 推薦人             |          |
|--------------------------|-----------------|---------------------|-----------------|----------|
|                          | 氏名              | 所属                  | 氏名              | 所属       |
| <input type="checkbox"/> | 000744<br>青山 雄一 | 国立極地研究所             |                 |          |
| <input type="checkbox"/> | 000778<br>荒井 章司 | 金沢大学理工研究域自然システム学系   | 001353<br>石川 晃  | 東大・駒場    |
| <input type="checkbox"/> | 000788<br>荒木 徹  | 中国極地研究所             | 001363<br>藤野 清志 | 愛媛大・GRC  |
| <input type="checkbox"/> | 000845<br>荒木 博志 | 国立天文台 RISE月探査プロジェクト | 001469<br>竹本 修三 | JEIN基礎科研 |
| <input type="checkbox"/> | 000897<br>井川 猛  | ジオタンサ、地下構造研究調査事務所   |                 |          |
| <input type="checkbox"/> | 000875<br>井口 正人 | 京都大学防災研究所火山活動研究センター |                 |          |

投票を中止する

入力内容確認

日本地球惑星科学連合事務局  
Japan Geoscience Union Secretariat  
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階  
E-mail: reg@jpgu.org Fax: 03-6914-2088

登録区分の  
確認・変更  
終了後の画面  
「投票画面」

5名以内の選択  
4名以下、白票  
でも、追加、再  
投票は不可

↓  
入力確認  
投票完了へ

### 代議員選挙投票

選挙投票状況

操作マニュアル

### システムメニュー

セッション提案

会員情報確認・更新

パスワード更新

会員種別変更

登録区分・セクション変更

ID登録情報検索

決済状況確認

プライバシーポリシー

会員 操作マニュアル

投票後は、

「選挙投票」  
「候補者名簿」  
ボタン表示がな  
くなる

## 選挙運営での問題点

【規則関係】 補欠選挙についての規則がない

【システム関係】 無投票を想定していない → 今回、改修依頼  
補欠選挙について想定していない

## 2011 年度 選挙管理委員会

|        |       |           |
|--------|-------|-----------|
| 委員長    | 坪本 裕之 | 首都大学東京    |
|        | 市原 美恵 | 東京大学地震研究所 |
|        | 篠原 雅尚 | 東京大学地震研究所 |
|        | 砂村 倫成 | 東京大学      |
|        | 高木 征弘 | 東京大学      |
|        | 橘 省吾  | 東京大学      |
| オブザーバー | 大村 善治 | 京都大学      |

### 公 示

#### 一般社団法人日本地球惑星科学連合 代議員選挙について

日本地球惑星科学連合の個人会員（正会員）より選ばれた代議員（社員）の方々はセクションプレジデントならびに理事の被選挙者となるとともに、団体（学協会）会員とともに、定時・臨時社員総会において、役員の選出、事業計画の承認、その他の連合の運営に関わる諸事項についての決議を行なうこととなります。会員の皆様の意志に基づいて連合を運営するためにも、積極的な代議員への立候補ならびに投票をお願い致します。

具体的な選挙方法は、以下の代議員選挙実施要領のとおりです。立候補される方ならびに候補者を推薦される方はお間違いのない様、期日までに代議員立候補届出書あるいは代議員推薦届出書をご提出下さる様、お願い致します。なお、選挙の詳細につきましては、添付の代議員選挙規則および代議員選挙細則をあわせて御覧下さい。

2011 年 8 月 3 日

一般社団法人日本地球惑星科学連合

選挙管理委員会

委員長 坪本裕之

委員 市原美恵、篠原雅尚、砂村倫成、高木征弘、橘 省吾

#### 代議員選挙実施要領

##### 1. 選挙者

代議員の選挙者は、代議員選挙の投票締切日（10月28日）までに、一般社団法人日本地球惑星科学連合（以下、「本法人」といいます。）に登録をされた個人会員（正会員）の方であり、この方々は、全員、ご自分が所属する登録区分における候補者のなかから、5名（あるいはそれより少ない人数）の候補者を選んで、投票することができます。

##### 2. 被選挙者

立候補受付開始日の前日（8月14日）までに本法人の個人会員（正会員）となった方は、どなたでも立候補により、または推薦により、代議員の候補者となることができます。

##### 3. 任期



今回の選挙で選ばれる代議員の任期は、来年の4月から2年間となります。

#### 4. 立候補等について

代議員候補者となる方法は、自薦、選挙権を有する1名以上の正会員による推薦（ただし、被推薦者の承諾が必要）の2つがあります。立候補者は、所定の立候補届出書を、推薦者は、所定の推薦届出書を、立候補等受付期間内に、選挙管理委員会に届けることになります。

#### 5. 立候補等の届出

立候補または推薦届出書は、以下に示す所定のフォーム（ホームページからダウンロード可能）を使用し、立候補等受付締切日（9月15日）までに届くよう、日本地球惑星科学連合、選挙管理委員会（〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル4階）に郵送、または持参して下さい。

#### 6. 選出数

代議員の定数は、80名以上200名以内であり、代議員選挙公示日の前日（8月2日）における団体（学協会）会員の数の2倍となります。また各登録区分において選挙で選出する代議員の数は、上記の代議員定数のうち、5名ずつ（合計30名）を各登録区分に配分した後、残りの人数を、選挙公示日の前日（8月2日17:00）における各登録区分に所属する個人会員（正会員）の数によって比例配分した数となります。

今回の各登録区分において選挙で選出する代議員の数は、以下の通りです。

|         |     |       |
|---------|-----|-------|
| 宇宙惑星    | 15名 |       |
| 大気海洋・環境 | 18名 |       |
| 地球人間圏   | 13名 |       |
| 固体地球    | 29名 |       |
| 地球生命    | 9名  |       |
| 地球惑星総合  | 12名 | 合計96名 |

#### 7. 選挙日程

|               |                |
|---------------|----------------|
| 代議員選挙公示       | 2011年 8月 3日（水） |
| 代議員選挙立候補等受付開始 | 2011年 8月15日（月） |
| 代議員選挙立候補等受付締切 | 2011年 9月15日（木） |
| 代議員選挙投票開始     | 2011年 9月29日（木） |
| 代議員選挙投票締切     | 2011年10月28日（金） |
| 代議員選挙開票、結果報告  | 2011年11月 4日（金） |

#### 8. 投票方法

投票は、ホームページ上で行ないませんが、代議員選挙の投票締切日（10月28日）までに会員登録をされた個人会員（正会員）の方は全員、ご自分が所属する登録区分の候補者のなかから、5名（あるいはそれより少ない人数）を選んで、投票することができます。

---

## 2012 年連合大会準備状況

期間:2012 年 5 月 20 日(日)～25 日(金) 会場:幕張メッセ国際会議場

【今後の予定】

|               |                                                                                                   |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大会 HP 公開      | : 2011 年 9 月 1 日(木)                                                                               |
| セッション提案募集     | : 2011 年 9 月 1 日(木)～10 月 21 日(金)<br>※最大延長 10 月 25 日(火)                                            |
| セッションコメント     | : 2011 年 10 月 31 日(月)～11 月 7 日(月) 【プログラム委員会】                                                      |
| プログラム編成会議     | : 2011 年 11 月中旬<br>※コンビナーとの調整                                                                     |
| セッション ID 確定   | : 2011 年 11 月 21 日(月)                                                                             |
| セッション修正, 詳細入力 | : 2011 年 11 月 30 日(水)～12 月 20 日(火)                                                                |
| 開催セッション公開     | : 2011 年 12 月 21 日(水)                                                                             |
| 展示企画出展者募集     | : 2011 年 11 月 1 日(火)～定員になり次第終了                                                                    |
| 予稿原稿投稿募集      | : 2012 年 1 月 11 日(水)～2 月 3 日(金) 24:00 >>早期締切<br>～2 月 17 日(金) 12:00 >>最終締切<br>※最大延長 2 月 20 日(月)まで可 |
| コマ割検討         | : 2012 年 2 月下旬                                                                                    |
| コマ割確定         | : 2012 年 3 月 13 日(火)                                                                              |
| コマ割公開         | : 2012 年 3 月 16 日(金)                                                                              |
| プログラム編集       | : 2012 年 3 月 16 日(金)～3 月 25 日(日)                                                                  |
| プログラム編成終了     | : 2012 年 3 月 28 日(水)                                                                              |
| プログラム公開       | : 2012 年 4 月上旬                                                                                    |
| 予稿 PDF 公開     | : 2012 年 5 月上旬                                                                                    |
| 大会参加登録        | : 2012 年 1 月 11 日(水)～5 月 7 日(月) 17:00                                                             |

## 2012 年大会セッション受付数 (9 月 21 日現在, 17 件)

| セッションカテゴリー |     | 代表コンビナー | タイトル                    | 開催希望  |
|------------|-----|---------|-------------------------|-------|
| 宇宙惑星科学     | 5 件 | 梅田 隆行   | 宇宙プラズマ理論・シミュレーション       |       |
| 宇宙惑星科学     |     | 木村 淳    | 惑星科学                    |       |
| 宇宙惑星科学     |     | 片岡 龍峰   | 太陽高エネルギー粒子被ばく予測モデルの研究開発 |       |
| 宇宙惑星科学     |     | 徳丸 宗利   | 太陽圏・惑星間空間               |       |
| 宇宙惑星科学     |     | 藪田ひかる   | 隕石解剖学:太陽系物質の総合的理解に向けて   |       |
| 固体地球科学     | 7 件 | 高橋 太    | 地磁気・古地磁気・岩石磁気           |       |
| 固体地球科学     |     | 梅田 浩司   | 放射性廃棄物処分と地球科学           |       |
| 固体地球科学     |     | 林 能成    | 地震予知                    |       |
| 固体地球科学     |     | 鈴木 晴彦   | 強震動・地震災害                |       |
| 固体地球科学     |     | 角替 敏昭   | 岩石・鉱物・資源                |       |
| 固体地球科学     |     | 多田 訓子   | 電気伝導度・地殻活動電磁気学          |       |
| 固体地球科学     |     | 廣瀬 仁    | スロー地震                   |       |
| 大気海洋・環境科学  | 3 件 | 祖父江 真一  | 新たな宇宙からの地球観測ミッションの創出    | パブリック |
| 大気海洋・環境科学  |     | 安原 正也   | 同位体水文学 2012             |       |
| 大気海洋・環境科学  |     | 安原 正也   | 都市域の地下水・環境地質            |       |
| 地球人間圏科学    | 1 件 | 春山 成子   | グローバルランドプロジェクト          | 国際    |
| 地球生命科学     | 1 件 | 北里 洋    | 石灰化作用と地球化学からみた地球生命代替指標  | 国際    |

## セッション受付状況

| 2012 年大会 |   |       |      |                                   | 2011 年大会 |   |          |      |                |
|----------|---|-------|------|-----------------------------------|----------|---|----------|------|----------------|
| 日付       |   | 受付/累計 | 対応内容 |                                   | 日付       |   | 受付/累計/割合 | 対応内容 |                |
| 9/1      | 木 | 1     | 1    | 大会 HP, セッション提案 OPEN               | 9/1      | 水 | 5        | 5    | 3%             |
| 2        | 金 | 0     | 1    |                                   | 2        | 木 | 2        | 7    | 4%             |
| 3        | 土 | 0     | 1    |                                   | 3        | 金 | 1        | 8    | 5%             |
| 4        | 日 | 0     | 1    |                                   | 4        | 土 | 0        | 8    | 5%             |
| 5        | 月 | 0     | 1    |                                   | 5        | 日 | 0        | 8    | 5%             |
| 6        | 火 | 1     | 2    |                                   | 6        | 月 | 0        | 8    | 5%             |
| 7        | 水 | 0     | 2    |                                   | 7        | 火 | 1        | 9    | 5%             |
| 8        | 木 | 1     | 3    |                                   | 8        | 水 | 0        | 9    | 5%             |
| 9        | 金 | 5     | 8    | 2011 年コンビーナ, セッション提案者, 海外参加者へ提案依頼 | 9        | 木 | 1        | 10   | 6%             |
| 10       | 土 | 0     | 8    |                                   | 10       | 金 | 0        | 10   | 6%             |
| 11       | 日 | 1     | 9    |                                   | 11       | 土 | 0        | 10   | 6%             |
| 12       | 月 | 3     | 12   | メールニュース 9 月号 セッション提案開始のご案内        | 12       | 日 | 0        | 10   | 6%             |
| 13       | 火 | 1     | 13   |                                   | 13       | 月 | 3        | 13   | 7%             |
| 14       | 水 | 0     | 13   |                                   | 14       | 火 | 1        | 14   | 8%             |
| 15       | 木 | 1     | 14   |                                   | 15       | 水 | 0        | 14   | 8%             |
| 16       | 金 | 2     | 16   | 2011 年海外コンビーナへ個別メール               | 16       | 木 | 1        | 15   | 8%             |
| 17       | 土 | 0     | 16   |                                   | 17       | 金 | 0        | 15   | 8%             |
| 18       | 日 | 0     | 16   |                                   | 18       | 土 | 0        | 15   | 8%             |
| 19       | 月 | 0     | 16   |                                   | 19       | 日 | 0        | 15   | 8%             |
| 20       | 火 | 1     | 17   |                                   | 20       | 月 | 0        | 15   | 8%             |
| 21       | 水 | 0     | 17   |                                   | 26       | 日 | 1        | 16   | 9%             |
|          |   |       |      |                                   | 27       | 月 | 2        | 18   | 10%            |
|          |   |       |      |                                   | 28       | 火 | 1        | 19   | 11%            |
|          |   |       |      |                                   | 29       | 水 | 1        | 20   | 11%            |
|          |   |       |      |                                   | 10/1     | 金 | 2        | 22   | 12%            |
|          |   |       |      |                                   | 4        | 月 | 1        | 23   | 13%            |
|          |   |       |      |                                   | 6        | 水 | 3        | 26   | 15%            |
|          |   |       |      |                                   | 7        | 木 | 5        | 31   | 18%            |
|          |   |       |      |                                   | 8        | 金 | 5        | 36   | 20%            |
|          |   |       |      |                                   | 11       | 月 | 3        | 39   | 22%            |
|          |   |       |      |                                   | 12       | 火 | 7        | 46   | 26%            |
|          |   |       |      |                                   | 13       | 水 | 4        | 50   | 28%            |
|          |   |       |      |                                   | 14       | 木 | 2        | 52   | 29%            |
|          |   |       |      |                                   | 15       | 金 | 3        | 55   | 31%            |
|          |   |       |      |                                   | 16       | 土 | 2        | 57   | 32%            |
|          |   |       |      |                                   | 17       | 日 | 3        | 60   | 34%            |
|          |   |       |      |                                   | 18       | 月 | 3        | 63   | 36%            |
|          |   |       |      |                                   | 19       | 火 | 8        | 71   | 40%            |
|          |   |       |      |                                   | 20       | 水 | 7        | 78   | 44%            |
|          |   |       |      |                                   | 21       | 木 | 4        | 82   | 46%            |
|          |   |       |      |                                   | 22       | 金 | 12       | 94   | 53%            |
|          |   |       |      |                                   | 23       | 土 | 9        | 103  | 58%            |
|          |   |       |      |                                   | 24       | 日 | 4        | 107  | 60%            |
|          |   |       |      |                                   | 25       | 月 | 26       | 133  | 75%            |
|          |   |       |      |                                   | 26       | 火 | 21       | 154  | 87%            |
|          |   |       |      |                                   | 締切後      |   |          |      |                |
|          |   |       |      |                                   | 26       | 火 | 8        | 162  | 92%            |
|          |   |       |      |                                   | 27       | 水 | 5        | 167  | 94%            |
|          |   |       |      |                                   | 28       | 木 | 4        | 171  | 97%            |
|          |   |       |      |                                   | 31       | 日 | 1        | 172  | 97%            |
|          |   |       |      | それ以降 (緊急セッション含む)                  |          |   | 5        | 177  | 100%           |
|          |   |       |      | 合計                                |          |   | 177      | 100% | 最終 174 セッション開催 |

## 2012 年大会の講演実施案概要

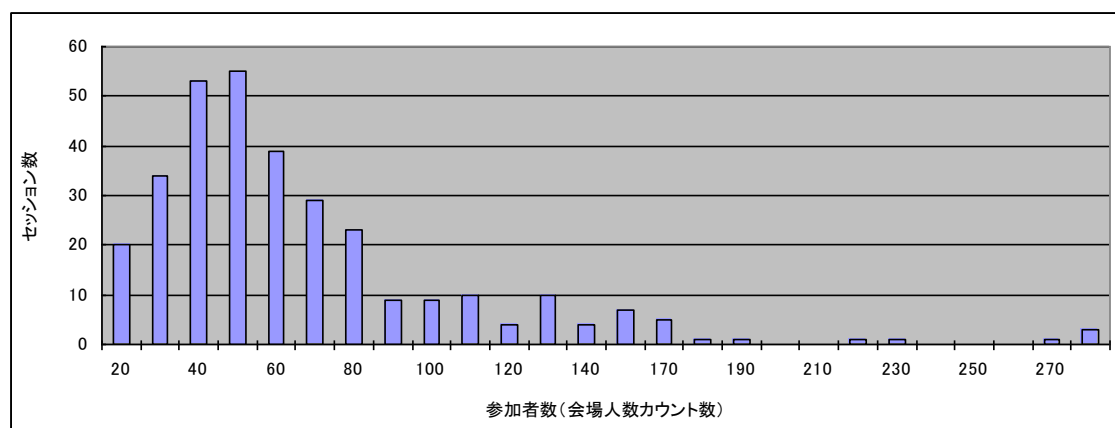
ポスター講演を質量ともに充実させる。

それによって口頭講演の質向上を図り、もって連合大会全体のより一層の充実を目指す。

|                      | 2012 年大会                                                                                | 2011 年大会                               |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| セッション時間<br>*時間割案参照   | 9:00-17:00(目標)<br>全講演数に応じて若干の変更は有り                                                      | 8:30-18:30                             |
| 講演時間                 | 変更なし (口頭:15分)                                                                           | 15分                                    |
| 招待講演                 | 一定数+講演数に応じて追加<br>ポスター専用の枠を用意する<br>(例:一律口頭2講演(国際は口頭 5 講演)+ポスター1講演, プラス投稿数の 15%程度までは追加可能) | 一律3講演(国際は6講演)<br>口頭とポスターのどちらかに割り振ってもよい |
| 時間配分ルール              | 事前に告知することでコンビーナの理解と協力を求める<br>ポスター講演の割合を高くする                                             |                                        |
| 講演会場数<br>*会場使用状況参照   | 会場の分割と小会場も利用することで18会場とする                                                                | 15会場                                   |
| ポスター講演               | すべてのポスター講演に3分間の口頭発表をつける                                                                 | ポスター掲示のみ, ポスター概要説明はコンビーナが発表枠を買い取って実施   |
| ポスターコアタイム<br>*時間割案参照 | コアタイムを複数設定し, 口頭セッションと重ならない時間帯も用意する                                                      | 口頭発表の裏で実施                              |
| ポスター講演の割合            | 口頭:ポスターを基本 1:1 にする<br>(そのために口頭希望→ポスターの移動もある程度は発生する)                                     | 口頭希望は極力口頭で発表させる                        |

## 会場について

(参考:2011 年大会会場使用状況)



※グラフ左から、「参加者が 20 人だったのが 20 セッション」「参加者が 30 人だったのが 35 セッション」..

## 2012 年大会 会場使用案

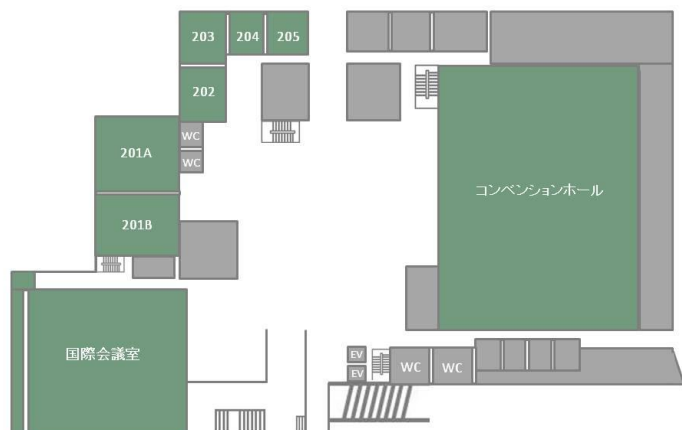
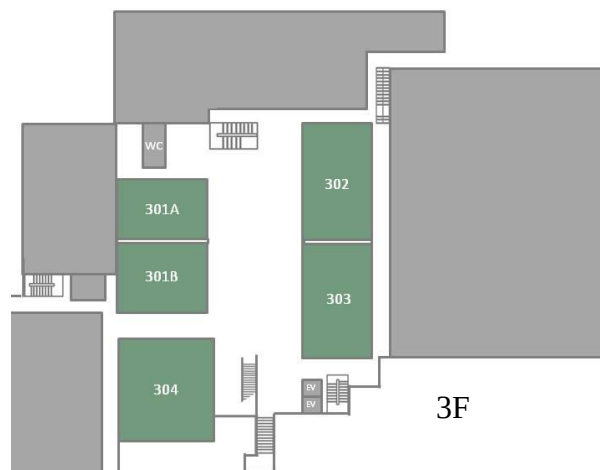
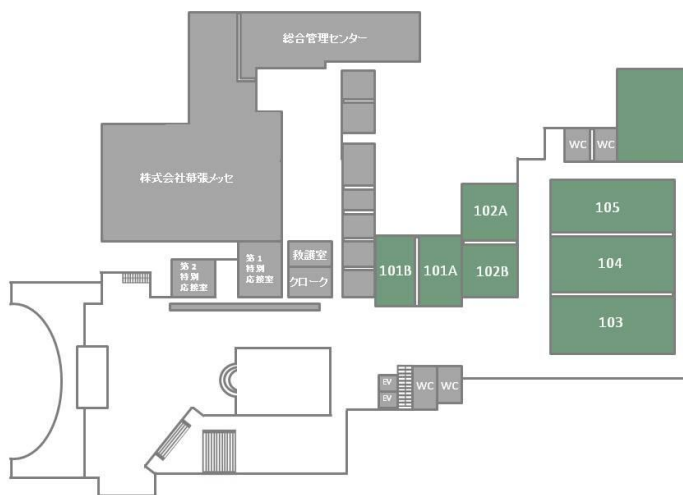
2012 年使用 予定会場

| 会場      | 定員      |
|---------|---------|
| 101A    | 70      |
| 101B    | 70      |
| 102A    | 70      |
| 102B    | 70      |
| 103     | 160     |
| 104     | 160     |
| 105     | 160     |
| 多目的スペース | 100(暫定) |
| IC      | 300     |
| 201A    | 140     |
| 201B    | 140     |
| 202     | 70      |
| 203     | 50      |
| 301A    | 110     |
| 301B    | 130     |
| 302     | 200     |
| 303     | 200     |
| 304     | 160     |
| 合計      | 18会場    |

2011 年使用会場

| 会場   | 定員   |
|------|------|
| 101  | 140  |
| 102  | 140  |
| 103  | 160  |
| 104  | 160  |
| 105  | 160  |
| IC   | 300  |
| 201A | 140  |
| 201B | 140  |
| 202  | 70   |
| 203* | 50   |
| 301A | 110  |
| 301B | 130  |
| 302  | 200  |
| 303  | 200  |
| 304  | 160  |
| 合計   | 15会場 |

\*使用実績7セッション9コマ



2F

3F

# 2012大会時間割案

|         | 2010大会 | 2011大会      | 案A              | 案A 最終日 | 案B     | 案B 最終日 | 案C     | 案C 最終日 | 案D     | 案D 最終日 | 案E     | 案E 最終日 |         |
|---------|--------|-------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 会場数     |        | 15          | 18(最大)          | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 18(最大) | 会場数     |
|         | 口頭     | ポスター        | 口頭              | ポスター   | 口頭     | ポスター   | 口頭     | ポスター   | 口頭     | ポスター   | 口頭     | ポスター   |         |
| 8:30 -  |        | 1           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 8:30 -  |
| 8:45 -  |        | 2           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 8:45 -  |
| 9:00 -  | 1      | 3           | 1               |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 9:00 -  |
| 9:15 -  | 2      | 4           | 2               |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 9:15 -  |
| 9:30 -  | 3      | 5           | 3               |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 9:30 -  |
| 9:45 -  | 4      | 6           | 4               |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 9:45 -  |
| 10:00 - | 5      | 7           | 5               |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 10:00 - |
| 10:15 - | 6      | 8           | 6               |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 10:15 - |
| 10:30 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 10:30 - |
| 10:45 - | 1      | 1           | 1               |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 10:45 - |
| 11:00 - | 2      | 2           | 2               |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 11:00 - |
| 11:15 - | 3      | 3           | 3               |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 11:15 - |
| 11:30 - | 4      | 4           | 4               |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 11:30 - |
| 11:45 - | 5      | 5           | 5               |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 11:45 - |
| 12:00 - | 6      | 6           | 6               |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 12:00 - |
| 12:15 - |        | 7           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 12:15 - |
| 12:30 - |        | 8           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 12:30 - |
| 12:45 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 12:45 - |
| 13:00 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 13:00 - |
| 13:15 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 13:15 - |
| 13:30 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 13:30 - |
| 13:45 - | 1      |             | 1               |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 13:45 - |
| 14:00 - | 2      |             | 2               |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 14:00 - |
| 14:15 - | 3      | 1           | 3               |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 14:15 - |
| 14:30 - | 4      | 2           | 4               |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 14:30 - |
| 14:45 - | 5      | 3           | 5               |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 14:45 - |
| 15:00 - | 6      | 4           | 6               |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 15:00 - |
| 15:15 - |        | 5           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 15:15 - |
| 15:30 - | 1      | 6           | 1               |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 1      |        | 15:30 - |
| 15:45 - | 2      | 7           | 2               |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 2      |        | 15:45 - |
| 16:00 - | 3      | 8           | 3               |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 3      |        | 16:00 - |
| 16:15 - | 4      |             | 4               |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 4      |        | 16:15 - |
| 16:30 - | 5      | 1           | 5               |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 5      |        | 16:30 - |
| 16:45 - | 6      | 2           | 6               |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 6      |        | 16:45 - |
| 17:00 - |        | 3           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 17:00 - |
| 17:15 - |        | 4           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 17:15 - |
| 17:30 - |        | 5           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 17:30 - |
| 17:45 - |        | 6           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 17:45 - |
| 18:00 - | ポスター   | 7           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 18:00 - |
| 18:15 - |        | 8           |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 18:15 - |
| 18:30 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 18:30 - |
| 18:45 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 18:45 - |
| 19:00 - |        |             |                 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 19:00 - |
| ポスター    |        | 注: 実際には、次のよ | 各セッションが、コンピーナ判断 | 同左     |        |        | 同左     |        | 同左     |        | 同左     |        | ポスター    |
| 総スロット数  | 2880   |             | 2502            |        | 2592   |        | 2700   |        | 2898   |        | 3024   |        | 総スロット数  |
| 会場数     | 15     |             | 18              |        | 18     |        | 18     |        | 18     |        | 18     |        | 会場数     |

# コンビーナによるセッション運営に関するガイドライン

2011 年 9 月 16 日版 (ver. 3.4.0)

(注：この版は，2011 年 9 月中旬時点での暫定版です．現在議論中の箇所がいくつかあり，10 月上旬に確定させる予定の最終版では，内容や数字が変更となる可能性があります．)

この文書は，2012 年連合大会におけるセッション提案のために，コンビーナの方々にセッション運営に関するガイドラインを示すものです．本文書の内容は，2011 年大会向けのものと変わっているところがありますので，ご注意ください．

## 目次

1. セッションの構成
2. セッション提案から採択まで
3. 投稿のよびかけ・招待講演
4. プログラム編成
5. プログラム確定後，大会当日まで
6. よくある質問(FAQ)

## 1：セッションの構成

(学術セッション)

日本地球惑星科学連合大会は，多数の学術セッションの集合として開催されます．個々の学術セッションはコンビーナによって提案されたスコープを持ち，コンビーナによって編成された学術発表により成り立ちます．

(セッションの公用語)

各セッションの公用語には，日本語または英語を選ぶことができます．公用語に英語を選んだセッションは，日本地球惑星科学連合国際シンポジウム (JpGU International Symposium) セッション (以下国際セッションと略す) と呼ばれます．

国際セッションに対しては，招待講演数や口頭講演数などの優遇措置があります．

(セッションのカテゴリー)

個々の学術セッションは，対象や内容によって以下の 7 つのカテゴリーのどれかに属します．(各カテゴリーには，[ ]内に記したセッション大記号が付されます．)

- ・宇宙惑星科学 [P] (惑星科学，太陽地球系科学，宇宙空間物理学，宇宙電磁気学，太陽系外惑星科学など)
- ・大気海洋・環境科学 [A] (大気科学，気象学，大気環境，海洋科学，水文学，陸水学，地下水学，雪氷学，地球環境科学・気候変動研究など)
- ・地球人間圏科学 [H] (地理学，地形学，応用地質学，環境地質学，堆積学，自然災害，防災，資源・エネルギーなど)
- ・固体地球科学 [S] (測地学，地震学，固体地球電磁気学，地球内部科学，地球惑星テクトニクス・ダイナミクス，地質学，第四紀学，鉱床・資源地質学，岩石・鉱物学，火山学，地球化学など)
- ・地球生命科学 [B] (地球生命科学，宇宙生物学・生命起源，地圏生物圏相互作用，古生物学，古生態学など)
- ・教育・アウトリーチ [G] (地学教育，学校教育，社会対応)
- ・領域外・複数領域 [M] (上記 6 つのカテゴリーに属さない，または複数のカテゴリーを横断する内容のセッション，加盟外学協会との合同シンポジウムなど)

(特別なセッション)

以下の 2 種類の，特別なセッションがあります．

- ・パブリックセッション [O]：アウトリーチ活動や一般の方々にも地球惑星科学の成果を広くお知らせするために設定されるセッションです．パブリックセッションは投稿料および参加費が無料になります．
- ・ユニオンセッション [U]：地球惑星科学のフロンティアや地球惑星科学のコミュニティー全体に共通する課題を全研究者に広く周知し，議論するためのセッションです．

これらの特別なセッションは，提案された学術セッションの中からプログラム編成会議がもっともふさわしいものを選んで，提案したコンビーナに特別なセッションとしての開催を依頼します．これらのセッションでは招待講演者数に上限がなく，講演時間や討議時間の設定も自由です．

## 2：セッション提案から採択まで

#### (セッション提案)

9月から10月にかけて日本地球惑星科学連合大会 Web システムにてセッション提案を受け付けます。

#### (代表コンビーナ)

個人、学協会、または研究グループ等の団体によるセッション提案が可能ですが、個々のセッション提案につき、必ず1名の代表コンビーナを指定してください。

代表コンビーナは日本地球惑星科学連合の登録IDが必要です。あらかじめIDを取得しておいてください。

代表コンビーナに加えて共同コンビーナを登録することができます。IDを登録した共同コンビーナは代表コンビーナと同様にプログラム編成作業ができます。代表コンビーナと共同コンビーナをあわせて、コンビーナと呼びます。

#### (提案区分)

全てのセッションは、まず、7つのセッションカテゴリーのいずれかの学術セッションとして提案してください。適切なカテゴリーが見つからない等、不明の点は、連合事務局に質問してください。

パブリックセッション、ユニオンセッション、国際セッションとしての開催を希望する場合には、提案時にその旨、指定してください。

#### (EGU, AOGSとの共催について)

国際セッションを提案され、さらにそのセッションをEGUまたはAOGSとの共催とされることを希望される(あるいは決まっている)場合は、セッション提案の中にその旨記述してください。共催を希望されており、かつその交渉を連合に依頼したい場合は、別途、国際学術委員長 (teru@eri.u-tokyo.ac.jp) 宛にその旨ご連絡ください。

#### (セッション小記号)

セッションカテゴリーにつけられた大記号に加えて、各カテゴリー内の類似分野のセッションを小記号に分類します。分類はプログラム編成会議で行いますが、希望があればセッション提案時に特記・希望事項として入力してください。

#### (開催日時・会場希望)

連合大会 Web システムでは部屋サイズ、開催日時についての希望を受け付けます。但し、大会の会場・会期は限られていますので必ずしも希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

#### (セッションの採択)

個々のセッションの採択、およびユニオンセッションとパブリックセッションの選定は、プログラム編成会議で決定します。セッション内容とセッションカテゴリー・小記号分類の不一致があるとプログラム編成会議が判断した場合、希望していたカテゴリー以外での採択、異なる小記号分類などの条件が課される場合があります。

また、以下に当てはまるとプログラム編成会議が判断する場合、当該セッションを不採択とすることがあります。

- ・日本地球惑星科学連合大会の趣旨から外れるもの
- ・他のセッションと科学的内容が同一あるいはほぼ同じと考えられるもの  
(科学的内容がほぼ同じセッションが複数あった場合、協議して一つにまとめます)

・内容が科学的見地から不適切、あるいは特定の個人・団体等の誹謗中傷あるいは利益誘導など社会倫理的に不適切と判断されるもの

セッション採否の結果は、11月末にお知らせする予定です。

### 3：投稿のよびかけ・招待講演

#### (投稿の呼びかけ)

採択が決定した段階で、各セッションのコンビーナから関連する研究者への積極的な宣伝をお願いします。予稿投稿期間は1月から2月の予定です。但し、各セッションの開催日時や口頭講演割当数などはプログラム編成時まで決定しませんので、特定の日時や口頭講演を確約しての宣伝は避けてください。

#### (投稿者への通知)

講演論文の予稿投稿にあたり、投稿者(筆頭著者あるいは発表者)が連合大会 Web システムにて会員登録(連合会員あるいは大会参加会員(連合非会員))するように助言をお願いします。投稿者(筆頭著者あるいは発表者)は会員登録が必須です。

#### (講演形態)

連合大会には、次の2種類の講演形態があります。

- (1) 口頭15分発表(質疑込み)：通称「口頭講演」
- (2) 口頭3分発表(質疑なし) + ポスター展示：通称「ポスター講演」



「ポスター講演」の場合には発表者本人の意思により、口頭 3 分発表を辞退してポスター展示のみとすることが出来ます。一方、コンビナーは発表者に対し、口頭 3 分発表の辞退を要請することはできません。ご注意ください。

2012 年大会では、従来のポスター発表に全て 3 分間の口頭発表が付くことになりました。その他、大会全体を通してポスター講演の充実を図ります。投稿者およびコンビナーの皆さまにはポスター講演を有効にご活用いただき、もって連合大会全体のより一層のレベル向上につなげていただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### （招待講演）

コンビナーはセッションごとに招待講演を依頼することができます。招待講演の講演形態は、「口頭講演」もしくは「ポスター講演」（上述）のいずれかです。

招待講演数には制限があります。次の通りです。

#### 【一般セッション】

一般投稿開始前：

自由枠（講演形態は「口頭講演」か「ポスター講演」のいずれかを選択）：2 件

ポスター枠（講演形態は「ポスター講演」に限定）：1 件

投稿締め切り後：

採択された口頭講演数に応じ、招待講演(自由枠)数を追加することができます。ただし、最終的な招待講演(自由枠)数は、そのセッションの全「口頭講演」数（招待講演（自由枠）の「口頭講演」数を含む）の 6 分の 1 を超えないものとします。

#### 【国際セッション】

一般投稿開始前の配分数は、次の通りです。

自由枠：5 件

ポスター枠：1 件

投稿締め切り後の追加分の算出方法は、一般セッションと同じです。

#### 【パブリックセッション、ユニオンセッション】

招待講演数に上限を設けません。

なお、これらのセッションにおける招待講演の投稿方法は通常の方法と同じであり、投稿料や参加費の優遇措置はありません（パブリックセッションをのぞく）。

注：上記の招待講演上限数は、2011 年 9 月中旬時点での暫定案です。9 月下旬までの議論において、変更となる場合があります。

一般投稿開始前に配分される招待講演枠に対しては、できるだけ一般投稿開始前に招待講演者を確定してください。一般投稿時には、そのセッションの招待講演者が誰かがわかるように公開します。

## 4：プログラム編成

### （時間割作成）

3 月に、連合大会全体の時間割作成作業を行います。プログラム委員会が全体を考慮して時間割案を作成し全コンビナーに提示しますので、確認してください。

実際の時間割作成作業では、投稿数に応じて「口頭講演」コマ数を配分し、重複を避けたいセッションや連続開催を希望するセッション、希望の部屋の大きさなどを考慮して各セッションの口頭講演開催日・時間帯等を決めます。しかし、会場数や利用可能時間が限られていますので、必ずしもご希望通りにはならないことがあります。予めご了承ください。各セッションのポスターコアタイムは、口頭講演の開催日・時間帯が確定後、複数の時間帯の中から各コンビナーに選んでいただく予定です。

口頭発表コマ数の配分は、当該セッションに申し込まれた講演数に基づいて行います。2011 年大会の場合は、次のようなルールで第一次配分を行い、その後、コンビナーからの意見や要望に基づいて調整を行いました。

#### 【2011 年大会の口頭発表コマ数配分ルール】

- ・ 1 コマ 8 講演を基本単位とする
- ・ ユニオンは個別に設定
- ・ 国際セッションは口頭希望を完全に満たすように配分
- ・ 一般セッション：
  - 口頭希望数が基本単位の整数倍より 1 つまたは 2 つ多い場合は切り捨て
  - 口頭希望数が 3 つ多い、かつ「どちらでも」がない場合も切り捨て

2012 年大会の口頭発表時間配分ルールは、次のようなものとする予定です。

[2012 年大会の口頭発表時間配分ルール] (2011 年 9 月案)

- ・ 1 スロット = 15 分とする
- ・ 1 コマは、6 ないし 7 スロットで構成する
- ・ 1 日には午前・午後 2 コマずつ、計 4 コマ配置する（原則）
- ・ ユニオン/パブリックセッションの時間配分は個別に設定する
- ・ 国際セッションは、口頭講演希望を完全に満たすように配分する
- ・ 一般セッション：  
So = 「口頭講演」希望数, Sp = 「ポスター講演」希望数  
基準スロット数 =  $\min((So + Sp) * C, So + Sp * 0.2)$ , 小数点以下は切り上げ  
C = 0.5 - 0.6 程度の係数

この基準スロット数を基準とし、時間割の組み合わせに応じて若干の増減を加え、配分コマ数が整数ないし半整数(程度)となるように、配分スロット数と配分コマ数を決める。

ただし、実際の投稿数や会場の都合により、2012 年 3 月の段階でこの配分ルールが変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

(プログラム編成)

3 月に連合大会 Web システムにてプログラム編成作業を行います。編成作業は、(代表および共同) コンビーナが責任をもって行って下さい。万が一、編成作業の時期にコンビーナが誰も作業できないときには事務局にご相談ください。

連合大会 Web システムでは 2 人以上の同時アクセスをチェックできません。2 人以上で編集作業を行う場合には連絡を取り合い、混乱が生じないように注意して下さい。

(論文の採択)

コンビーナは、投稿された論文の内容を精査して下さい。以下のように、連合大会における学術発表として不適切と判断される場合には、論文を不採択として下さい。

採択が疑われる論文については、プログラム委員会にご相談ください。トラブルを避けるため、投稿者に直接連絡することはおやめください。

投稿規定による不採択の基準は以下のとおりです：

- ・ 内容がセッションの趣旨から外れるもの  
(他に適切なセッションがあればコンビーナ間の協議により移動できます)
- ・ 科学的内容が不適切、あるいは発表論文として体裁が整っていないと判断されるもの
- ・ 個人や組織の誹謗中傷など、社会倫理的に、内容が不適切と判断されるもの
- ・ 発表の場を確保するなどの目的で、同一人物が同一セッションに規定(下記)以上の複数投稿を行ったり、他人名義(ダミー)など虚偽を含む投稿がなされたと判断される場合

同一セッションに対する筆頭著者あるいは発表者としての申し込みは、「口頭講演」1 件、「ポスター講演」1 件の計 2 件まで**可能とします**。ただし、学生が筆頭著者である論文に対して指導教員が代理で投稿あるいは発表すること等には制限を設けません。しかし、同一セッションで同一人が何件も「口頭講演」を行うことは発表機会の公平性の観点から好ましくありませんので、**この場合、3 件目以降の講演は「ポスター講演」でのみ可とします**。また、これまで、口頭発表枠の確保などの目的で「ダミー」の論文投稿が行われたり、講演者の同意なしに代理投稿が行われるなど、大会参加者の善意に基づいて成り立つ地球惑星連合大会の精神に反する行為が行われた事例があります。このような行為、およびこのような投稿の採択は絶対におやめください。このような行為が確認された場合には、当該セッションの採択を取り消すことがあります。

論文の採択・不採択についての最終決定はプログラム編成会議にて行い、投稿論文を不採択とする場合は、投稿者に対して、プログラム委員会から理由を付して通知します。この場合、投稿料は返却します。なお、投稿者が不採択を不服とする場合には、プログラム委員会に対して再審査を申し立てることができます。

(講演形態の決定)

コンビーナは内容にもとづいて、投稿された各論文には「口頭講演」・「ポスター講演」のどちらの講演形態が適当かを判断し、各論文の講演形態を決定して下さい。投稿時に示された「口頭講演」・「ポスター講演」の区別はあくまで投稿者の希望です。コンビーナの裁量により、投稿者の当初希望とは異なる講演形態に変更することができます。

「ポスター講演」の口頭発表は、3 分です。質疑は行いません。「ポスター講演」の口頭 3 分発表は、発表者本人の希望にもとづく場合でない限り、なくすことはできません。

「口頭講演」は、一講演あたり 15 分(質疑込み)です。自由形式のプログラム編成、パネルディスカッション等の開催は認められません。招待講演(の口頭講演)に限って一講演の時間を 15 分以上に設定することが可能です。ポスター

枠の招待講演の口頭3分講演は、3分以上にすることはできません。

会場数の制限から口頭発表可能数には限りがあります。投稿者の「口頭講演」希望を全て満たすことは容易ではなく、ある程度の数の投稿者の希望に添えないことがあることを、あらかじめご了解ください。

（特別な対応を要するセッションに関する取り扱い）

政府要人など警備を必要とする人物の招待講演では、警備や控え室確保などに準備が必要となることがあります。招待を検討される場合は、必ず事前に地球惑星科学連合大会運営委員会に相談してください。また、このセッションの実施においては、大会運営委員会の調整に従ってください。招待者への対応は原則としてセッションのコンビーナが責任をもって行い、特別対応に伴う諸費用（控え室使用料など）もコンビーナ側が負担してください。招待講演以外の場合にも、特別対応が必要な場合には同様とします。

（講演の順序）

講演の順序など、投稿者からの希望がある場合には、コンビーナの判断で対応してください。

「ポスター講演」の3分講演は、できるだけ5つまとめて15分単位にしてください（連合大会全体の進行が15分ごとに同期されるように）。半端の分は、休憩時間に入る前の枠に配置するとよいでしょう。また、3分講演が10以上も続くと落ち着かないと感じる人もいますので、適宜離して配置するのがよいかも知れません。

（他セッションへの移動）

コンビーナの判断により、投稿論文を他の適当なセッションで採択することができます。この場合、各セッションの時間枠を再調整することは難しいので、時間枠の余裕の有無を含めて、移動先のセッションのコンビーナとの事前協議をお願いします。また、セッションの移動は、事前に投稿者の了承を得てから行って下さい。

（座長の選定）

一つのセッションに複数の座長を選定してください。（口頭発表（「口頭講演」「ポスター講演」双方の）が全くないセッションは不要です。）座長には、連合大会に確実に参加する人を選定してください。座長への依頼や確認は、コンビーナが行ってください。

（セッションの確定と承認）

全てのセッションプログラムは、プログラム編成会議での検討を経た後に確定され、最終的に理事会の了承を受けて実施されます。セッションプログラムの構成等に対して、大会運営委員会が協議を求めることがあります。

## 5：プログラム確定後、大会当日まで

（発表論文タイトル・発表者・著者名の変更）

投稿締め切り日以降、論文の発表タイトル、発表者および著者は、原則として変更できません。

（講演のキャンセル）

発表者からのキャンセルの申し出について、やむを得ないとコンビーナが判断する場合には、指定されたフォームによりプログラム局に必要事項をお知らせください。

## 6：よくある問合せQ&A

問い合わせの多い項目についてQ&Aにまとめました。参考にしてください。

・国際セッションについて

Q：国際セッションとは何でしょうか。

A：公用語が英語のセッションです。セッション提案時に英語を公用語として選び、さらに、「国際セッションを希望する」を選択してください。国際セッションに対しては、招待講演者数や「口頭講演」数などの優遇措置があります。

・招待講演について

Q：招待講演の投稿受付は通常の講演と同じでしょうか。

A：通常と同じです。

Q：招待講演でも投稿料金は同じですか。

A：同じです。投稿料・参加料への優遇措置はありません。（ただしパブリックセッションは例外）

Q：一人が投稿できる論文数に制限はありますか。（招待講演はカウントされない等）

A：あります。

同一セッションには「口頭講演」1件、「ポスター講演」1件の合計2件まで投稿できます。

同一人が、複数のセッションに複数の投稿をおこなうことに制限はありません。

招待講演も通常の投稿論文と同様にカウントされます。

Q：招待講演と通常講演の見分け方がありますか。

A：招待講演（ポスター枠を含む）には、プログラムの演題番号前に「★」印をつけて印刷・表示を行い、区別できるようにします。招待講演のポスターにも、招待講演とわかる表示をします。

・講演時間について

Q：個々の口頭発表の時間を数分短くすることで口頭講演数を増やしてよいですか。

A：認められません。招待講演以外の「口頭講演」は、一律15分とします。これは口頭講演の質を下げないためであり、同時進行のセッション間での聴衆の移動を円滑にするためでもあります。ご理解ください。

Q：セッションのはじめに趣旨説明の時間を設定してよいですか？

A：認められません。貴重な口頭講演の時間を削ることは望ましくないのでセッション開始前の時間に短く行うか、コンビーナの講演を最初に行うなどして対応してください。

Q：総合討論の時間を設けたいのですが？

A：パブリックセッションとユニオンセッション以外では、そのような時間を割り当てることは原則としてできません。どうしても必要な場合は、次の2つの方法のいずれかをご利用ください。

(1) コンビーナによる「口頭講演」申し込み：コンビーナの方が、総合討論用の「口頭講演」講演を申し込んでください。1セッションにつき1講演分(15分)のみ、採択することができるものとします。なお、この講演申し込みについても通常の投稿手続きが必要であり、投稿料がかかります。投稿数制限には、カウントしないことにします。最終的な採択は、プログラム編成会議が行います。

(2) 「会合」の利用：時間外（通常の講演が行われていない時間）に同じ会場もしくは別室を別途有料で使用するによって、開催することが可能です。事務局にご相談ください。

・その他

Q：セッション日程はいつ頃決まりますか。

A：3月中旬に決まる予定です。

投稿締め切り後、プログラム委員会にてコマ割を行います。コンビーナの皆様へは3月上旬に第1版をお知らせし、確認をお願いする予定です。その後、各セッションからの修正要望をもとに調整し、最終決定します。

Q：英語版 web システムで、発表原稿（アブストラクト）の投稿は可能ですか。

A：可能です。

英語ログインページ：[https://secure.jtbcom.co.jp/jpgu\\_e/](https://secure.jtbcom.co.jp/jpgu_e/)

Q：ユニオンセッションの投稿受付は通常のセッションと同じでしょうか。

A：同じです。投稿料・参加料への優遇措置はありません。

Q：講演会場の設備機器には何がありますか。

A：プロジェクター1台が標準装備です。OHPについては、使用希望の事前連絡が必要です。パソコンの装備はありません。また、ポスター会場内では機器の使用はできません。

## 2012 年大会参加料金設定

| 種別                |               | 事前参加登録料<br>2011 年 5 月 7 日(月)まで |          | 当日参加登録料<br>2011 年 5 月 20 日(日)<br>より 5 月 26 日(金)まで |          |
|-------------------|---------------|--------------------------------|----------|---------------------------------------------------|----------|
|                   |               | 全日程                            | 一日券      | 全日程                                               | 一日券      |
| 一般                | 連合会員          | ¥ 11,000                       | ¥ 6,000  | ¥ 13,000                                          | ¥ 7,000  |
|                   | 非会員<br>(大会会員) | ¥ 18,000                       | ¥ 12,000 | ¥ 20,000                                          | ¥ 13,000 |
| 小中高教員<br>(注 1)    | 連合会員          | ¥ 5,500                        | ¥ 3,000  | ¥ 7,000                                           | ¥ 4,000  |
|                   | 非会員<br>(大会会員) | ¥ 11,500                       | ¥ 8,000  | ¥ 13,000                                          | ¥ 10,000 |
| 大学院生・研<br>究生(注 2) | 連合会員          | ¥ 5,500                        | ¥ 3,000  | ¥ 7,000                                           | ¥ 4,000  |
|                   | 非会員<br>(大会会員) | ¥ 11,500                       | ¥ 8,000  | ¥ 13,000                                          | ¥ 10,000 |

## ジオパークセッションの開催方法について

ジオパーク関連セッション(2011 年実績)

O-22 ジオパーク (オーラル:12, ポスター:30)

O-23 日本ジオパーク委員会公開審査 (オーラル:7)

|           |                                                |
|-----------|------------------------------------------------|
| セッションカテゴリ | パブリック                                          |
| 開催日       | 月曜日                                            |
| 参加費・投稿費   | 無料                                             |
| 参加者数      | 約 160 名                                        |
| 運営状況      | 渡辺真人先生が人員を手配し、ジオパークセッションに参加する方の受付は専用のカウンタを用意した |

検討事項 (カッコ内は渡辺先生の見解)

- ・発表者からの投稿費の徴収 (投稿費の徴収は可能ではないか)
- ・開催日 (参加者がほぼ地方自治体職員のため、平日を希望)
- ・パブリックとして開催してよいのかどうか

→平日開催, 投稿費徴収でもパブリックとして成り立つのか?

## パブリックセッション「ジオパーク」「日本ジオパーク委員会公開審査」に関して

渡辺真人（両セッションコンビーナ）

### 今回のセッションの目的と意義

- ・ 地球惑星科学コミュニティがジオパークを通じて地域社会に貢献していることをアピールする
- ・ 一般市民（今回は特に地方自治体関係者）にジオパークセッションへの参加を機に地球惑星科学への関心を高めてもらう
- ・ 日本ジオパーク委員会の審査の一部を公開することにより、ジオパークに関心のある市民・自治体関係者のジオパークの理念への理解を深めてもらう

### 今回のセッションの内容

「ジオパーク」セッションでは、連合の他のセッションと同じように発表申し込みを受け付け、41 件の発表が集まった。午前をこのセッションに当てる。ジオパークにおける研究教育活動、ジオガイド養成、ジオパークと火山防災などに関する口頭発表、各ジオパーク及び候補地における教育・普及、地形・地質遺産の観光への活用など各種活動報告のポスター発表が予定されている。進行・運営は通常セッションと全く同じである。発表者はジオパークの学術・教育担当者が中心で、ジオパークの運営に携わっている行政関係者も発表する。

午後行う「日本ジオパーク委員会公開審査」では、審査を受ける 8 ヶ所（現時点での予定）がプレゼンテーションと質疑応答を行う。審査を受ける地域は既に日本ジオパーク委員会で把握しており、講演者と日本語講演要旨を、連合事務局が用意する website を通じて提出することとなっている。講演者の多くが行政担当者であり学会発表の形式に不慣れなこと、〆切を遅らせることによってより多くの地域に申請が見込めることを考慮し特別扱いをお願いした。ジオパークの地球科学的な意義、教育・普及活動や観光と地域振興への活用の実態などについて 10 分間のプレゼンテーションを行い、10 分間委員による質疑を受け、聴衆からも質問を受け付ける。

### これまでの経緯

ジオパークは、2008 年に本格的な活動が始まって以降、地球科学の普及、防災、地域振興に大きな成果を上げつつある（添付資料参照）。2007 年連合大会におけるパブリックセッション「ジオパーク」に集まった研究者・行政関係者が現在のジオパークの発展の中心的人材となっている。その後 2009 年、2010 年にもパブリックセッションとしてジオパークセッションが行われ、2010 年にはセッションの一部として、日本ジオパーク委員会の公開審査が初めて行われた（同委員会の位置づけと審査の仕組みは添付資料参照）。2010 年のジオパークセッションは 200 人の部屋が満席、通路も立ち見でいっぱいとなり、公開審査の時間帯は部屋に入れない人が出る盛況であった。2007 年には朝日新聞科学面に、2009 年には日経サイエンス誌にジオパークセッションの様子が記事となった。また毎回発表した地域の地域紙に、ジオパークセッションに関する記事が多数掲載されている。

### ジオパークセッションの運営

昨年は一度に多くの地方自治体関係者が一般受付に殺到し参加者管理に支障を来すなど、様々な不都合があった。今年は、日本ジオパークネットワークから受付担当の人を出してもらい、連合事務局と協議の上ジオパークセッション専用受付を開設して混乱を回避したい。また、日本ジオパークネットワークとして、パンフレットデスクデスクの出展を考えている。

当日の運営、例えばジオパークセッション参加者への案内やプレス対応等は、連合事務局と連携を取りながら、日本ジオパーク委員会事務局である産総研と日本ジオパークネットワークで行う。

### 月曜日に開催する理由

現在のジオパークのコミュニティは、地球科学とその周辺分野の研究者、地方自治体行政官、教育関係者、地域住民から成っている。昨年のセッション参加者は研究者・教育関係者と自治体関係者が多かった。自治体関係者から休日よりも平日の方が仕事として参加しやすいとの意見があったこと、研究・教育関係者と一部の自治体

関係者からは日曜日の教育・アウトリーチ系のセッションと重ならないようにして欲しいとの意見があったことから、今年は月曜開催をお願いしたい。

#### 今後の開催方法について

現在は、自治体、研究機関、学会などがジオパークの活動にかかわる人とお金を支えている状況である。2007年以降、今回までの地球惑星連合大会のセッションは、連合によるジオパークへの支援としてジオパークに関わる自治体から高く評価され、感謝されている。日本のジオパークコミュニティの中心となる団体、日本ジオパークネットワークは年度内に NPO 法人格取得見込みであり、会費と各種収益事業で経済的に自立する見込みである。来年以降ジオパークのセッションをどのような形で続けていくか、同ネットワークと連合にとって無理のない形を両方で協議できればよいと考えている。

### 【 資料：ジオパークの現状とこれまでの動き】

#### ジオパークとは

ジオパークは地球活動の遺産を見どころとする公園で、ユネスコが支援する世界ジオパークネットワークが核となって推進している。

<http://www.unesco.org/new/en/natural-sciences/environment/earth-sciences/geoparks/>

日本では、日本ジオパークネットワークと、その審査機関である日本ジオパーク委員会が活動の中心である。世界ジオパークネットワークに加盟を認められた地域を世界ジオパークと言い、25ヶ国 77ヶ所の世界ジオパークがある（日本には4ヶ所）。各国で審査する国レベルのジオパークもあり、日本ジオパークは世界ジオパークの4ヶ所を含めて14ヶ所ある。

ジオパークでは、地域にある地形、地層、岩石などを公園として整備し（ジオサイト）、教育と観光に活用する。ジオパークになった地域では、地元住民が地元の地形・地質の成り立ちを学ぶ学習会、ジオサイトを活用した児童の教育が盛んに行われている。また、地元ガイドがジオサイトを案内するジオツアーが盛んになっており、ジオサイトをめぐる定期観光バスを運行して盛況となっている地域もある。ジオパークにある自然系博物館の入場者数が伸びている例も多い。

こうした活動を学術面から支えるために、自治体による若い地球科学者の採用も進んでいる。例えば、島原市では火山専門職員という形で、鳥取県と兵庫県では県立博物館の学芸員の増員という形で、学位を持った若手地球科学者を職員として新たに採用した。

ジオパークは防災体制にも役立っている。霧島噴火に関して、火山噴火予知連絡会会長は記者会見で、「環霧島会議の連絡協議会で、周辺の自治体がジオパークなどの活動とあわせて密接な連絡体制を作っているなかで、今回の噴火を迎えた。警戒レベル導入と直接関係はないが、牛を移動させたり、ロードスニーカーを貸し出すなどしだりの連携は迅速だった。それは、自治体側の不断の努力が実ったということだ」とジオパークに言及した。

**日本ジオパークネットワーク**：日本ジオパーク委員会が認定した日本ジオパークを正会員とし、それを目指す地域を準会員とする地域間ネットワーク。ジオパークの普及・広報・推進を図る。

[http://web.mac.com/japan\\_geoparks/JGN/top.html](http://web.mac.com/japan_geoparks/JGN/top.html)

**日本ジオパーク委員会**：世界ジオパークネットワークが認める日本におけるジオパークの審査機関。日本火山学会、日本第四紀学会、日本地質学会、日本地震学会、日本地理学会からの委員を含む、学識経験者・専門家 11名の委員で構成、産総研地質調査総合センターが事務局。この委員会が日本から世界ジオパークネットワークに申請する地域の推薦を行い、日本ジオパークの認定を行う。申請書に基づく書類審査、今回連合大会で行うプレゼンテーションと質疑応答、現地調査に基づき、秋に最終的な推薦・認定の可否を決定する。

<http://www.gsj.jp/jgc/indexJ.html>

## 【これまでの経緯】

### 世界ジオパークネットワーク（GGN）設立まで

- ・ ユネスコ執行委員会（2001 年 6 月）ジオパークを推進する各国の努力を支援することを決定。
- ・ 2004 年にユネスコの支援により世界ジオパークネットワーク（GGN）を設立。

### 学会などを中心とした初期の活動

- ・ 2004 年 9 月地質学会でジオパークに関する最初の集会
- ・ 2005 年に地質学会ジオパーク設立推進委員会設立。広報・普及、地域への情報提供などを行う。
- ・ 2005 年-2006 年に NPO 法人地質情報整備・活用機構がジオパークに関するシンポジウムを 3 回開催。地方自治体、中央省庁からも参加者。
- ・ 2007 年には地球惑星科学連合大会、第四紀学会、地質学会でシンポジウムなどを実施。連合大会の様子を伝える朝日新聞科学面の記事をきっかけに、各地の地方紙に記事多数掲載。

### 日本ジオパークネットワーク、日本ジオパーク委員会設立から現在まで

- ・ 2007 年 12 月糸魚川市長が呼びかけて日本ジオパーク連絡協議会設立（13 地域）。
- ・ 2008 年 2 月ジオパーク関連省庁による協議。日本ジオパーク委員会が世界ジオパークネットワークへの申請にあたって審査を行い、日本ジオパークネットワーク加盟を認定する、という枠組みを確認。
- ・ 2008 年 5 月 日本ジオパーク委員会発足、第1回委員会開催
- ・ 2008 年 10 月 第 3 回日本ジオパーク委員会において、洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島の三地域を最初の日本からの世界ジオパーク申請候補に決定。
- ・ 2008 年 12 月 第 4 回日本ジオパーク委員会において、アポイ岳、南アルプス、山陰海岸、室戸の 4 地域を、上記世界ジオパーク候補 3 地域と合わせて日本ジオパークに認定。
- ・ 2009 年 2 月 日本ジオパーク記念式典。7 地域に認定証を JGC から渡す。日本ジオパークネットワーク（JGN）設立宣言
- ・ 2009 年 5 月 JGN 設立総会（正会員 7 地域、準会員 6 地域、オブザーバ 7 地域）
- ・ 2009 年 8 月 世界ジオパークネットワークが洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島の三地域の同ネットワーク加盟を決定、23 日に正式発表
  - ・ 2010 年 10 月 山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワーク加盟



参考資料 【2011 年会場係アンケート】

| 日付   | コマ    | 会場   | セッション<br>記号 | セッション名           | 定員  | 参加<br>人数 | 備考                                                                                                                                 |
|------|-------|------|-------------|------------------|-----|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/22 | PM1/2 | 101  | H-DS26      | 津波とその即時予測        | 140 | 最大 67    | 一定して 50-60 人くらい。後半立ち見が 5 人。                                                                                                        |
| 5/22 | AM2   | 102  | A-AS20      | 成層圏過程と気候         | 120 | 46       | ワイヤレスマイクほしい(却下 by 岩上),08 発表者 土屋<br>→佐藤、13 キャンセル                                                                                    |
| 5/22 | PM1   | 102  | A-AS20      | 成層圏過程と気候         | 120 | 37       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM2   | 102  | A-AS20      | 成層圏過程と気候         | 120 | 38       | AA-S20-18 発表者 Baron→笠井、レーザーポインター<br>電池交換                                                                                           |
| 5/22 | AM1   | 103  | H-DS25      | ヒマラヤの氷河期決壊洪水     | 160 | max36    | 前列から 2/3(全列の)に分散した着席。マイクは有線より<br>無線であるべき。<br>ライト操作の場所は前の方がないため苦労した。                                                                |
| 5/22 | AM2   | 103  | H-DS25      | ヒマラヤの氷河期決壊洪水     | 160 | max26    | タイマーの操作時は音が鳴らない方がいいと思う場面が<br>あった。<br>途中で止めてしまった場合に音が邪魔と感ずることもあ<br>った。                                                              |
| 5/22 | PM1   | 103  | H-DS25      | ヒマラヤの氷河期決壊洪水     | 160 | 26       | 発表時間の変更(AM2 12:15-12:30 H-DS025-11 を<br>PM115:30-15:45 に変更)時間内にセッション終了                                                             |
| 5/22 | PM2   | 103  | P-PS24      | 月の科学と探査          | 160 | 60       | 発表時間の変更(PM2 16:30-16:45 P-PS024-01 をがキ<br>ャンセル(大会 HP には記載されていたが座長には連絡<br>していなかった)<br>PM2 18:00-18:15 P-PS024-07 を 5/23 AM1 の最初に移動) |
| 5/22 | AM2   | 104  | H-CG35      | 閉鎖系内の生物システム      | 160 | 20       | 少人数で暖かい雰囲気。照明の落とし方が分からずや<br>や混乱した(内線で係の方を呼び解決)。時間配分、会<br>の進行は座長の方にお任せした(ペルなし)。                                                     |
| 5/22 | PM1/2 | 104  | S-CG68      | 地層処分             | 160 | 40       | 緊張感の高い雰囲気。全体に散って座る。会場係の座<br>る位置は？                                                                                                  |
| 5/22 | AM2   | 105  | S-SS28      | 地震波伝播            | 160 | 90       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1   | 105  | S-SS29      | 地震波伝播            | 160 | 50       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM2   | 105  | S-SS27      | 地震波伝播            | 160 | 60       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1/2 | 1C   |             |                  | 300 | 550      |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM1/2 | 201A | S-RD043     | レアメタルとレアアース      | 140 | 48       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM1/3 | 201A | S-CG066     | 断層帯の化学           | 140 | 67       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1   | 201A | M-IS27      | ガスハイドレード         | 140 | 61       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM2   | 201A | M-IS27      | ガスハイドレード         | 140 | 52       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM2   | 201B | B-PT23      | 化学合成生態系の進化       | 140 | 30       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1   | 201B | B-PT24      | 地球生命史            | 140 | 50       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM2   | 201B | B-PT24      | 地球生命史            | 140 | 40       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM1/2 | 202  | M-IS21      | 地球流体力学           | 70  | 55-60    | 開始直後 30 人だったが次第に増えてきて午前 11 時くら<br>いでは立ち見が出るほど。質問をする人は何人かの人<br>が中心にされていた感じだった。                                                      |
| 5/22 | PM1/2 | 202  | A-HW25      | 水循環・水環境          | 70  | 45-50    | 発表者によって人数のばらつきが大きい。平均は 35-40<br>人くらいか。人数が最大の時は立ち見も出るも、ポツポ<br>ツ空いている席に座ればおさまる程度。                                                    |
| 5/22 | PM2   | 203  | H-RE32      | 自然資源の利用と管理       | 50  | 22       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM1   | 301A | G-EJ20      | 小中学校の教育          | 110 | 80       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM2   | 301A | G-SU21      | 高校の惑星科学教育        | 110 | 80       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM2   | 301A | G-SU23      | 学部教育の現状と課題       | 110 | 80       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1/2 | 301A | G-HE24      | 地球惑星科学の科学論       | 110 | 60       | 議論が白熱していた                                                                                                                          |
| 5/22 | PM1   | 301B | S-VC51      | 火山とテクトニクス        | 130 | 100      | 後半人が少なかった(70 人くらい)                                                                                                                 |
| 5/22 | PM2   | 301B | S-VC51      | 火山とテクトニクス        | 130 | 80       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM1   | 301B | S-VC48      | 火山・火成活動と長期予<br>測 | 130 | 60-70    |                                                                                                                                    |
| 5/22 | AM2   | 301B | S-VC48      | 火山・火成活動と長期予<br>測 | 130 | 80       |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1   | 302  | S-CG60      | スロー地震            | 200 | 130      |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM2   | 302  | S-CG58      | スロー地震            | 200 | 130      |                                                                                                                                    |
| 5/22 | PM1   | 303  | M-IS23      | 生物地球化学           | 200 | 65-70    | 開始時間から終了まで人数の変動はほとんどなし                                                                                                             |
| 5/22 | AM1   | 303  | M-IS23      | 生物地球化学           | 200 | 70       | 男:女=6:1 程度、学生 10-15 人程度、和気あいあいとし<br>た雰囲気<br>余裕を持ちつつ席が埋まった状態                                                                        |
| 5/22 | AM2   | 303  | M-IS23      | 生物地球化学           | 200 | 70-75    | 男:女=6:1 程度、学生 10-15 人程度、和気あいあいとし<br>た雰囲気<br>余裕を持ちつつ席が埋まった状態                                                                        |

|      |       |      |         |                                        |     |         |                                                                              |
|------|-------|------|---------|----------------------------------------|-----|---------|------------------------------------------------------------------------------|
| 5/22 | PM1   | 304  | U-22    | 極端気象                                   | 160 | 35      | 学部生、院生以外の人(専門家)が比較的多い印象を受けた                                                  |
| 5/22 | PM2   | 304  | U-22    | 極端気象                                   | 160 | 35      | 同じ                                                                           |
| 5/22 | AM1   | 304  | U-01    | Water, Atmosphere, Human in Megacities | 160 | 20      |                                                                              |
| 5/22 | AM2   | 304  | U-01    | Water, Atmosphere, Human in Megacities | 160 | 30      | 徐々に人が増えてきた。学部・院生くらいの年齢の人が多い。                                                 |
| 5/23 | AM1   | 101  | P-PS21  | 隕石解剖学                                  | 140 | 54      | Mac の接続トラブルが多い。マイクが有線で非常に使いにくい。もう一人スタッフがほしい                                  |
| 5/23 | AM2   | 101  | P-PS21  | 隕石解剖学                                  | 140 | 68      | Win PC トラブルあり。見えにくいとのことで照明を一部落とした。後のマイクを有効に使うにはもう一人会場係が必要。                   |
| 5/23 | PM1   | 101  | P-PS25  | 宇宙惑星固体物質                               | 140 | 74      | 途中から立ち見が増えた                                                                  |
| 5/23 | PM2   | 101  | P-PS25  | 宇宙惑星固体物質                               | 140 | 53      |                                                                              |
| 5/23 | AM1   | 102  | A-AS21  | 大気化学                                   | 140 | 62      | 6 番 表題・話題変更                                                                  |
| 5/23 | AM2   | 102  | A-AS21  | 大気化学                                   | 140 | 74      | 15 番 キャンセル                                                                   |
| 5/23 | PM1   | 102  | A-AS21  | 大気化学                                   | 140 | 52      |                                                                              |
| 5/23 | PM2   | 102  | M-GI32  | 逆問題の新展開                                | 140 | 41      |                                                                              |
| 5/23 | AM1   | 103  | P-PS24  | 月の科学と探査                                | 160 | 75      |                                                                              |
| 5/23 | AM2   | 103  | P-PS24  | 月の科学と探査                                | 160 | 70      |                                                                              |
| 5/23 | PM1   | 103  | P-PS24  | 月の科学と探査                                | 160 | 65      |                                                                              |
| 5/23 | PM2   | 103  | P-PS24  | 月の科学と探査                                | 160 | 60      | 前方空席目立つ。ただし人〇〇〇人のように座り座りにくい雰囲気                                               |
| 5/23 | AM1   | 104  | S-SS29  | 断層レオロジーと地震発生                           | 160 | 130     | セッション後、少し部屋が明るいと言われた(AM2 から暗くして対応)                                           |
| 5/23 | AM2   | 104  | S-SS29  | 断層レオロジーと地震発生                           | 160 | 140     |                                                                              |
| 5/23 | PM1   | 104  | S-IT40  | 地球深部科学                                 | 160 | 60      | 人の出入りは少なく常に 50 人前後                                                           |
| 5/23 | PM2   | 104  | S-IT40  | 地球深部科学                                 | 160 | 50      | 2 つ目まで 50 人くらい、3 つ目から 30-40 人で推移                                             |
| 5/23 | AM1   | 105  | S-SS31  | 地殻構造                                   | 160 | 70-80   | 照明を暗くしてほしいという指摘あり。→本部に電話。係の人に対応してもらった。外に貼ってあったプログラムがいつの間にか部屋番号電光掲示板の下に貼られていた |
| 5/23 | AM2   | 105  | S-SS34  | 首都直下プロジェクト                             | 160 | 100-110 | 座長アナウンスで人の名前を読むとき読み方が分からないものがある。フリガナがほしい                                     |
| 5/23 | PM1   | 105  | S-SS33  | 関東アスぺリティ                               | 160 | 100     | 部屋が縦に細長いので講演途中に来る人たちが後ろ(ドア付近)にたまりすぎる                                         |
| 5/23 | PM2   | 105  | S-VC49  | 火山の熱水系                                 | 160 | 37      | いい感じに散らばって座られていた                                                             |
| 5/23 | AM1   | IC   | S-SS23  | 強振動・地震災害                               | 300 | 125     |                                                                              |
| 5/23 | AM2   | IC   | S-SS23  | 強振動・地震災害                               | 300 | 139     |                                                                              |
| 5/23 | PM1   | IC   | S-SS23  | 強振動・地震災害                               | 300 | 162     |                                                                              |
| 5/23 | PM2   | IC   | S-SS35  | 海溝型巨大地震                                | 300 | 180     |                                                                              |
| 5/23 | AM1   | 201A | S-GD21  | 測地学一般                                  | 140 | 60      |                                                                              |
| 5/23 | AM2   | 201A | S-GD21  | 測地学一般                                  | 140 | 90      | 準天頂衛星「みちびき」に対する関心が高いようで、その発表の時間は多くの人が集まった                                    |
| 5/23 | PM1   | 201A | S-GD22  | 重力・ジオイド                                | 140 | 65      | 積極的に発言する人が少なかった                                                              |
| 5/23 | PM2   | 201A | S-GD22  | 重力・ジオイド                                | 140 | 44      |                                                                              |
| 5/23 | AM1   | 201B | M-IS22  | 地球掘削科学                                 | 140 | 28-55   | 28,32,42,55,48                                                               |
| 5/23 | AM2   | 201B | M-IS22  | 地球掘削科学                                 | 140 | 37-50   | 40,37,44,50,41,47,39,38                                                      |
| 5/23 | PM1/2 | 201B | S-MP05  | Minerals, Rocks and Mountains          | 140 | 43/35   | プロジェクトの調子が悪いときがある。会の終盤で人が減少(20 人)                                            |
| 5/23 | AM1/2 | 202  | A-HW27  | 水循環                                    | 70  | 30-35   | 椅子は半分くらいしか埋まらず。11:30 以降は 6-7 割埋まっていた                                         |
| 5/23 | PM1   | 202  | A-HW27  | 水・循環環境と環境維持                            | 70  | 42      | 他のセッションと比べて静かな気がした。あまり人の出入りが少ない                                              |
| 5/23 | PM2   | 202  | S-GL42  | 地域地質と構造発達史                             | 70  | 23      |                                                                              |
| 5/23 | PM2   | 203  | M-IS029 | 富士山科学                                  | 50  | 39      | だんだん人が集まってきた                                                                 |
| 5/23 | AM1   | 301A | G-SC22  | アウトリチ                                  | 110 | 50      | 9:00 以降増加                                                                    |
| 5/23 | AM2   | 301A | G-SC22  | アウトリチ                                  | 110 | 55      |                                                                              |
| 5/23 | PM1   | 301A | S-CG09  | Glass and Melts                        | 110 | 40      |                                                                              |
| 5/23 | PM2   | 301A | S-CG09  | Glass and Melts                        | 110 | 30      |                                                                              |
| 5/23 | AM1   | 301B | B-A001  | Astorbiology                           | 130 | 43      |                                                                              |
| 5/23 | AM2   | 301B | B-A001  | Astorbiology                           | 130 | 39      |                                                                              |
| 5/23 | PM1   | 301B | S-CG65  | 真の大陸成長                                 | 130 | 64      |                                                                              |

|      |     |      |                   |                       |     |         |                                                                                                                                        |
|------|-----|------|-------------------|-----------------------|-----|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/23 | PM2 | 301B | S-CG65            | 真の大陸成長                | 130 | 88      |                                                                                                                                        |
| 5/23 | AM1 | 302  | S-VC50            | 活動的火山                 | 200 | 150     | 質問者用マイクが有線だと使いにくいと感じた                                                                                                                  |
| 5/23 | AM2 | 302  | S-VC50            | 活動的火山                 | 200 | 110     |                                                                                                                                        |
| 5/23 | PM1 | 302  | S-VC50            | 活動的火山                 | 200 | 149     | 20 分頃経過したあたりで立ち見が出始め、1 時間くらいでピーク。<br>ピーク時は 30 人くらいの立ち見。                                                                                |
| 5/23 | PM2 | 302  | H-DS28            | 地震動予測地図               | 200 | 90      | 参加人数の変動はあまりなし                                                                                                                          |
| 5/23 | AM1 | 303  | O-22              | ジオパーク                 | 200 | 117     | 立ち見が数名。プロジェクトの分配行きがきれているので直接つないだ                                                                                                       |
| 5/23 | AM2 | 303  | O-22,23           | ジオパーク、ジオパーク公開審査       | 200 | 132,161 |                                                                                                                                        |
| 5/23 | PM1 | 303  | O-23              | ジオパーク公開調査             | 200 | 143     | 後方の壁で立っている人がいるほどたくさんの人が来ていた。途中入れ替わりは少ない                                                                                                |
| 5/23 | AM1 | 304  | U-20              | 生命－水－鉱物－大気            | 160 | 66      | 質疑応答が多く活気づいていた                                                                                                                         |
| 5/23 | AM2 | 304  | U-20              | 生命－水－鉱物－大気            | 160 | 80      | 前半の3つは人が多かったがその後は人がでていってしまった                                                                                                           |
| 5/23 | PM1 | 304  | U-20              | 生命－水－鉱物－大気            | 160 | 53-89   | 89,71,70,67,64,53                                                                                                                      |
| 5/23 | PM2 | 304  | U-20              | 生命－水－鉱物－大気            | 160 | 42-73   | 70,70,73,68,61,42                                                                                                                      |
| 5/24 | AM1 | 101  | P-CG33            | 惑星大気圏・電磁圏             | 140 | 60      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM2 | 101  | P-CG33            | 惑星大気圏・電磁圏             | 140 | 60      | あとから入ってきて後ろで立ち見をしている人が何人かいらっしやいました。前方の席は 3 列のどガラガラでした。                                                                                 |
| 5/24 | PM1 | 101  | P-EM26            | 宇宙プラズマ理論・シミュレーション     | 140 | 50      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | PM2 | 101  | P-EM26            | 宇宙プラズマ理論・シミュレーション     | 140 | 50      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM1 | 102  | A-CC28            | 雪氷学                   | 140 | 50      | 活発な質疑応答がなされていて、活気ある雰囲気だった。                                                                                                             |
| 5/24 | AM2 | 102  | A-CC28            | 雪氷学                   | 140 | 52      | AM1 の時間帯と同様、活発な質疑応答がなされていた。                                                                                                            |
| 5/24 | PM1 | 102  | A-CC30            | 雪氷圏と気候                | 140 | 40      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | PM2 | 102  | M-TT34            | ソーシャルメディア             | 140 | 45      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM1 | 103  | P-PS20            | 惑星科学                  | 160 | 102     | PPS020-01:60, 02:69, 03:72, 04:83, 05:85, 06:91, 07:94, 08:102 人。画面の間引きが一度あり、設定の変更や接続しなおしを行ったが直らなかったため、発表順を後にしてもらい、別パソコンでは正常に行うことができた。 |
| 5/24 | AM2 | 103  | P-PS20            | 惑星科学                  | 160 | 99-115  | PPS020-09:106, 10:99, 11:109, 12:114, 13:155, 14:107                                                                                   |
| 5/24 | PM1 | 103  | P-PS20            | 惑星科学                  | 160 | 102     | PPS020-15 発表者不在                                                                                                                        |
| 5/24 | PM2 | 103  | P-PS20            | 惑星科学                  | 160 | 65      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM1 | 104  | M-IS25            | 遠洋域の進化                | 160 | 50      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM2 | 104  | M-IS25/<br>B-PT22 | 遠洋域の進化/地球史解説          | 160 | 35/60   | 開始 5 分くらいに 10 人ほど入ってきた。/後ろの方からも質問がでていた。                                                                                                |
| 5/24 | PM1 | 104  | B-PT22            | 地球史解説                 | 160 | 100     | 後ろに席に集中、立ち見をする人がでていた。前方の席には、余裕あり。終始静かに進行、発表しやすい雰囲気。                                                                                    |
| 5/24 | AM1 | 105  | S-SS30            | 地殻変動                  | 160 | 105     | 9:30 頃には 65~70 人前後で安定。立ち見は数人程度。時間オーバーする方なく、時間通り終了。                                                                                     |
| 5/24 | AM2 | 105  | S-TT57            | 合成開口レーダー              | 160 | 70      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | PM1 | 105  | S-TT57            | 合成開口レーダー              | 160 | 50-90   | 後ろに立っている人が 10 人ほどいた。途中ライトのパネルによりかかった人によって照明が消えた。                                                                                       |
| 5/24 | PM2 | 105  | S-TT54            | 空中地球計測                | 160 | 25-35   |                                                                                                                                        |
| 5/25 | PM1 | IC   | U-23              | 東日本大震災、今、地球科学のあり方を考える | 300 | 920     | 始め 800 人くらい＋立席＋報道、学生少なめ                                                                                                                |
| 5/25 | PM2 | IC   | U-23              | 東日本大震災、今、地球科学のあり方を考える | 300 | 850     | 原子力の議論が特に熱い、時間押した                                                                                                                      |
| 5/24 | AM1 | IC   | S-SS35            | 海溝型巨大地震               | 300 | 215     |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM2 | IC   | S-SS35            | 海溝型巨大地震               | 300 | 270     |                                                                                                                                        |
| 5/24 | PM1 | IC   | S-SS35            | 海溝型巨大地震               | 300 | 27      | 最初にくらべ、時がたつとともに、人が集まってきた。15:02 に人数を数えた。                                                                                                |
| 5/24 | PM2 | IC   | S-SS35            | 海溝型巨大地震               | 300 | 84-154  | 開始時は 80 名ほどだったが、徐々に人が増え、150 名以上になった。                                                                                                   |
| 5/24 | AM1 | 201A | H-SC24            | 人間環境と災害リスク            | 140 | 30      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | AM2 | 201A | H-SC24            | 人間環境と災害リスク            | 140 | 50      |                                                                                                                                        |
| 5/24 | PM1 | 201A | H-QR22            | 平野地質                  | 140 | 40      | 照明をうす暗くという要望あり                                                                                                                         |
| 5/24 | PM2 | 201A | H-TT34            | 環境リモートセンシング           | 140 | 25      |                                                                                                                                        |

|      |     |      |        |                 |     |       |                                                                                 |
|------|-----|------|--------|-----------------|-----|-------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 5/24 | AM1 | 201B | M-IS26 | 大気電気学           | 140 | 37    |                                                                                 |
| 5/24 | AM2 | 201B | M-IS26 | 大気電気学           | 140 | 37    |                                                                                 |
| 5/24 | PM1 | 201B | B-PT26 | 古脊椎動物           | 140 | 35    |                                                                                 |
| 5/24 | PM1 | 201B | B-BG20 | サンゴ礁            | 140 | 45    |                                                                                 |
| 5/24 | AM2 | 202  | S-CG64 | 堆積・浸食ダイナミクス     | 70  | 46    |                                                                                 |
| 5/24 | PM1 | 202  | S-CG64 | 堆積・浸食ダイナミクス     | 70  | 46    |                                                                                 |
| 5/24 | PM2 | 202  | S-CG64 | 堆積・浸食ダイナミクス     | 70  | 35    |                                                                                 |
| 5/24 | AM1 | 203  | M-TT35 | フィールドワークの未来     | 50  | 22    | 笑いのある暖かい雰囲気。質疑応答が活発で大幅に時間オーバー                                                   |
| 5/24 | AM2 | 203  | M-TT35 | フィールドワークの未来     | 50  | 18    |                                                                                 |
| 5/24 | PM1 | 203  | P-EM29 | 太陽放射線被ばく        | 50  | 44    | 前の席に空きがあり、荷物が置いてある席もあったので、50 人に満たなかったですが、後ろで立ち見をされている方が最大 6 人ほどいました。            |
| 5/24 | PM2 | 203  | P-EM29 | 太陽放射線被ばく        | 50  | 38→25 | 人数は始め PM1 と同じくらいでしたが、だんだん減っていくのが見られました。                                         |
| 5/24 | AM1 | 301A | S-IT39 | レオロジーと物質移動      | 110 | 70-80 | 若干、後ろに立っている人がいた。                                                                |
| 5/24 | PM1 | 301A | M-IS20 | 結晶成長：界面・ナノ減少    | 110 | 34    | プロジェクターと PC の接続が悪く、背景がピンク色になる現象が何度か起こった。(接続部をいじることで一応回復はする。)おそらく PC2 の方。        |
| 5/24 | PM2 | 301A | M-IS20 | 結晶成長：界面・ナノ減少    | 110 | 28    |                                                                                 |
| 5/24 | AM1 | 301B | S-VC47 | 火山噴火のダイナミクスと素過程 | 130 | 80-90 |                                                                                 |
| 5/24 | AM2 | 301B | S-VC47 | 火山噴火のダイナミクスと素過程 | 130 | 100   | 立って見てる人が 5~10 人ぐらいいた。前に方の席は少し空いていた。                                             |
| 5/24 | PM1 | 301B | S-MP45 | 水素中性子地球科学       | 130 | 48    | 人の出入りが少なく、一度聴きに入った人は最後のセッションまで残る傾向があった。                                         |
| 5/24 | PM2 | 301B | S-MP45 | 水素中性子地球科学       | 130 | 40    | 各セッション後の質疑応答が活発で時にはディスカッションにまで発展していた。                                           |
| 5/24 | AM1 | 302  | H-DS28 | 地震動予測地図         | 200 | 90    | 開始時 30 人程度。10 時 90 人程度。終了時 90 人程度。                                              |
| 5/24 | AM2 | 302  | H-DS29 | 活断層と地震災害軽減      | 200 | 105   | 開始時 80 人程度。11:15、105 人程度。12:10、75 人程度。終了時、60 人程度。                               |
| 5/24 | PM1 | 302  | S-SS32 | 活断層と古地震         | 200 | 80    | 立ち見の方も多くいた。                                                                     |
| 5/24 | PM2 | 302  | S-SS32 | 活断層と古地震         | 200 | 70    |                                                                                 |
| 5/24 | AM1 | 303  | H-RE31 | 温暖化防止           | 200 | 40-45 | 始め 20 人程度、中盤 35~40 人で最後の発表で 45 人程度。                                             |
| 5/24 | AM2 | 303  | H-RE31 | 温暖化防止           | 200 | 50    | ずっと 45 人前後の人数でした。                                                               |
| 5/24 | PM1 | 303  | H-RE31 | 温暖化防止           | 200 | 40    |                                                                                 |
| 5/24 | PM2 | 303  | H-QR23 | ヒト・環境系          | 200 | 60    |                                                                                 |
| 5/24 | AM1 | 304  | U-21   | 科学的予測と防災情報      | 160 | 105   |                                                                                 |
| 5/24 | AM2 | 304  | U-21   | 科学的予測と防災情報      | 160 | 132   |                                                                                 |
| 5/24 | PM1 | 304  | U-21   | 科学的予測と防災情報      | 160 | 140   | 30 分経過ごろにピーク、立ち見たくさん                                                            |
| 5/24 | PM2 | 304  | S-CG69 | 地震・火山電磁気現象      | 160 | 55    |                                                                                 |
| 5/25 | AM1 | 101  | P-EM26 | 宇宙プラズマ          | 140 | 56    | セッション開始時は 26 人(8:30 頃)。セッション中盤以降(9:30~)から中途入場者多い                                |
| 5/25 | AM2 | 101  | P-EM06 | CAWSES-II/ISWI  | 140 | 33    | セッション開始時は 33 人。時間的変動なし。人の出入りも少ない                                                |
| 5/25 | PM1 | 101  | P-EM06 | CAWSES-II/ISWI  | 140 | 50    | セッション開始時 27 人→30 分後 36 人→1 時間後 43 人→終了時 50 人 (徐々に増加)                            |
| 5/25 | PM2 | 101  | P-EM06 | CAWSES-II/ISWI  | 140 | 30    | セッション開始時、27 人。中途入場者は非常に少ない。                                                     |
| 5/25 | AM1 | 102  | A-HW23 | 同位体水文学 2011     | 140 | 30    | 8:30 以降、人の出入りはあまりなく、参加人数は 10:30 までほとんど変わらなかった。                                  |
| 5/25 | AM2 | 102  | A-HW23 | 同位体水文学 2011     | 140 | 40    | AM1                                                                             |
| 5/25 | PM1 | 102  | A-HW23 | 同位体水文学 2011     | 140 | 30    |                                                                                 |
| 5/25 | AM1 | 103  | P-PS02 | Mars            | 160 | 50    | 9:00 前は少なかった。                                                                   |
| 5/25 | AM2 | 103  | P-PS02 | Mars            | 160 | 75    | 招待講演の時に一番参加人数が多かった。質問用マイクが前の席まで届かない。時間管理とマイク渡しは一人では難しい。                         |
| 5/25 | PM1 | 103  | P-PS02 | Mars            | 160 | 60    |                                                                                 |
| 5/25 | PM2 | 103  | P-EM27 | 磁気圏物理           | 160 | 60    |                                                                                 |
| 5/25 | AM1 | 104  | A-AS22 | 大気海洋の乱流の数値解析    | 160 | 45    | 平均すると 30~35 人、最後 2 つの発表時に 40~45 人、パソコンの不調により AAS022-03 と AAS022-04 の順番を入れ替えました。 |
| 5/25 | AM2 | 104  | A-AS22 | 大気海洋の乱流の数値解析    | 160 | 40    | 前の発表者の発表が終了してから PC 接続準備をした人がいて、時間ロス、その後アナウンスがありました。                             |
| 5/25 | PM2 | 104  | A-PE31 | 古気候・古海洋         | 160 | 60    |                                                                                 |

|      |     |      |               |                                          |     |        |                                                                                                                         |
|------|-----|------|---------------|------------------------------------------|-----|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/25 | AM2 | 105  | S-IT04        | mineral physics and dynamics of mantles  | 160 | 75     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 105  | S-IT04        | mineral physics and dynamics of mantles  | 160 | 90-100 |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM2 | 105  | S-IT04        | mineral physics and dynamics of mantles  | 160 | 70     | ベル不調、ボタンを押すと戻りにくい                                                                                                       |
| 5/25 | AM1 | IC   | U-02          | Great subduction-zone earthquakes        | 300 | 190    |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | IC   | U-02          | Great subduction-zone earthquakes        | 300 | 170    |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM1 | 201A | M-GI30        | 地球情報と3次モデル                               | 140 | 30     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | 201A | M-GI30/M-GI31 | 地球情報と3次モデル/情報地球惑星科学                      | 140 | 25/40  |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 201A | M-GI31        | 情報地球惑星科学                                 | 140 | 43     | 徐々に人が減っていった。                                                                                                            |
| 5/25 | PM2 | 201A | H-TT06        | Environmental Remote Sensing             | 140 | 12     | 会場に対して人数が少ない。                                                                                                           |
| 5/25 | AM1 | 201B | B-PT02        | Climate change in the low latitude       | 140 | 40     | 開始時18人、2人目発表時24人、3人目発表時33人、4人目発表時40人、5人目発表時39人。日本人しかいなければ日本語、外国の方が1人でもいれば英語を使っていました。通路が狭く、後方に人がたまっていました。イスを一律減らしたほうがよい。 |
| 5/25 | AM2 | 201B | B-PT02        | Climate change in the low latitude       | 140 | 38     | 開始時28人、2人目発表時28人、3人目発表時30人、4人目発表時34人、5人目発表時35人、6人目発表時38人。全て英語の発表でした。                                                    |
| 5/25 | PM1 | 201B | A-CG33        | 北極域                                      | 140 | 50     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM2 | 201B | A-CG33        | 北極域                                      | 140 | 44     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM1 | 202  | H-TT33        | 地理情報システム                                 | 70  | 40     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | 202  | H-TT33        | 地理情報システム                                 | 70  | 40     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 202  | H-TT05        | GIS                                      | 70  | 35     | 席は前の方を中心にまだ空きはあったが、後ろのほうで立ち見する人が5人くらいいた。                                                                                |
| 5/25 | PM2 | 202  | A-AS01        | GNSS for atmosphere and ionosphere       | 70  | 20     | 前に座っている方で、いびきをかいているいるおじさんが居た。                                                                                           |
| 5/25 | AM1 | 203  | S-GL41        | 地球年代学                                    | 50  | 35     | 画面サイズが合わず、1024×768に直したのが2件ありました。                                                                                        |
| 5/25 | AM2 | 203  | M-IS28        | ルミネッセンスとESR                              | 50  | 49     | パソコンの出力がうまくいかず、順番を変更して別のパソコンで発表したものが1件ありました。                                                                            |
| 5/25 | PM1 | 203  | S-CG10        | Near surface geophysics                  | 50  | 6      | 発表者2名キャンセルのため、1つの発表あたり25分。出入り口を常に開放し、人の出入りも頻繁にあった。質問にはマイクを用いなかった。質疑応答は時間いっぱいに行われた。                                      |
| 5/25 | AM1 | 301A | H-DS27        | 地質ハザード                                   | 110 | 45-60  |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | 301A | H-DS27        | 地質ハザード                                   | 110 | 40-70  |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 301A | H-GM21        | 地形                                       | 110 | 40-65  |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM2 | 301A | H-GM02        | Geomorphology                            | 110 | 20-25  |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM1 | 301B | S-MP45        | 水素中性子地球科学                                | 130 | 40     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | 301B | S-MP44        | 鉱物の物理化学                                  | 130 | 45     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 301B | M-IS24        | 宇宙気候学                                    | 130 | 90     | このセッションを見に来る人々は終始静かで、セッション後の質疑応答は少なかった。                                                                                 |
| 5/25 | PM2 | 301B | M-IS24        | 宇宙気候学                                    | 130 | 110    | どのセッションの適度な議論がされていた。                                                                                                    |
| 5/25 | AM1 | 302  | S-CG60        | 流体と沈み込み帯                                 | 200 | 130    | 30分経過ごろピーク、後ろで立ち見も20名程度。                                                                                                |
| 5/25 | AM2 | 302  | S-CG60        | 流体と沈み込み帯                                 | 200 | 110    |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 302  | S-CG62        | 流体と沈み込み帯                                 | 200 | 80     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM2 | 302  | S-CG61        | 応力と地殻ダイナミクス                              | 200 | 60     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM1 | 303  | H-QR23        | ヒト環境                                     | 200 | 52     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | 303  | H-QR23        | ヒト環境                                     | 200 | 60     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 303  | S-MP06        | Microanalytical constraints on magmatism | 200 | 40     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM2 | 303  | S-MP06        | Microanalytical constraints on magmatism | 200 | 35     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM1 | 304  | M-IS01        | Submarine Landslides and Related Topics  | 160 | 35     |                                                                                                                         |
| 5/25 | PM2 | 304  | M-IS01        | Submarine Landslides and Related Topics  | 160 | 30     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM1 | 304  | S-CG11        | Seismo-EM                                | 160 | 43     |                                                                                                                         |
| 5/25 | AM2 | 304  | S-CG11        | Seismo-EM                                | 160 | 35     |                                                                                                                         |

|      |     |      |               |                                       |     |       |                                                                        |
|------|-----|------|---------------|---------------------------------------|-----|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 5/26 | AM1 | 101  | S-IT03        | The Earth's Core                      | 140 | 65    |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | 101  | S-IT03        | The Earth's Core                      | 140 | 65    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 101  | S-TT56        | 物理探査                                  | 140 | 35    |                                                                        |
| 5/26 | PM2 | 101  | H-DS30        | 緊急地震速報                                | 140 | 80    |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 102  | B-PT25        | 人類進化と気候変動                             | 140 | 50    | 102 のドアを開け放すと、外から光が強く、スクリーンがぼやけるので、開始後見計らってドアを閉めに行ったほうがよい。             |
| 5/26 | AM2 | 102  | B-PT25/A-CC29 | 人類進化と気候変動/氷河・氷床コア                     | 140 | 55    | 12 時くらいに空調が切れた(停止?)。音がした後、だんだんと気温が上昇。12 時 30 分くらいにはかなり汗ばんみ出した。苦情は無かった。 |
| 5/26 | PM1 | 102  | A-CC29        | 氷床・氷河コア                               | 140 | 80    |                                                                        |
| 5/26 | PM2 | 102  | A-CC29        | 氷床・氷河コア                               | 140 | 55    |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 103  | P-EM31        |                                       | 160 | 50    | 学生が多く集まった                                                              |
| 5/26 | AM2 | 103  | P-EM31        |                                       | 160 | 45    | オーロラの画像が多かったので、部屋の明かりを全て消した。                                           |
| 5/26 | PM1 | 103  | P-EM32        | 大気圏・電離圏                               | 160 | ~70   |                                                                        |
| 5/26 | PM2 | 103  | P-EM32        | 大気圏・電離圏                               | 160 | ~50   |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 104  | A-PE31        | 古気候古海洋                                | 160 | 45    |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | 104  | A-PE31        | 古気候古海洋                                | 160 | 59    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 104  | M-IS03        | N-asia and Global ES                  | 160 | 17    | International session、招待講演のみ                                           |
| 5/26 | PM2 | 104  | M-IS03        | Conti-Ocean Mut. Interact             | 160 | 13    | International session                                                  |
| 5/26 | AM1 | 105  | S-CG67        | 岩石・鉱物・資源                              | 160 | 40    |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | 105  | S-CG59        | 海洋底地球科学地球科学                           | 160 | 120   |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 105  | S-CG59        | 海洋底地球科学                               | 160 | 70    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 105  | S-CG59        | 海洋底地球科学                               | 160 | 50    |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | IC   | U-05          |                                       | 300 | 150   |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | IC   | U-05          | Science of "Hayabusa" recovery sample | 300 | 150   | 立ち見はほとんどいなかった。                                                         |
| 5/26 | PM1 | IC   | U-05          | Science of "Hayabusa" recovery sample | 300 | 170   | ほとんどの講演で質問が少なく、予定より1分ほど早く終了した。                                         |
| 5/26 | PM2 | IC   | P-PS22        | 太陽系小天体の科学                             | 300 | 60    |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 201A | H-GG01        | GLP                                   | 140 | 20    | 質疑応答にマイクは要りませんでした(よく響くため)                                              |
| 5/26 | AM2 | 201A | H-GG01        | GLP                                   | 140 | 20    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 201A | H-SC03        | IHDP                                  | 140 | 15~20 |                                                                        |
| 5/26 | PM2 | 201A | H-SC03        | IHDP                                  | 140 | 15    |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 201B | B-PO03        | proxies for Blogeoscinece             | 140 | 35    |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | 201B | B-PO03        | proxies for Blogeoscinece             | 140 | 35    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 201B | S-CG63        | プレート集束帯の変形運動                          | 140 | 165   | ピーク時は立ち見が 40 名程度                                                       |
| 5/26 | PM1 | 201B | S-CG63        | プレート集束帯の変形運動                          | 140 | 130   |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 202  | P-CG08        | Instrumentaion for space science      | 70  | 20    | 朝イチは数人しかいませんでした                                                        |
| 5/26 | AM2 | 202  | P-CG08        | Instrumentaion for space science      | 70  | 19    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 202  | P-PS03        | Asteroidal collision                  | 70  | 30    |                                                                        |
| 5/26 | PM2 | 202  | P-PS03        | Asteroidal collision                  | 70  | 20    |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 301A | S-CG08        | Tectonics of Asian Continent          | 110 | 40~50 | セッションははじめ頃から、比較的多くの人が集まった。雰囲気はよく、発表後には必ず拍手があった。                        |
| 5/26 | AM2 | 301A | S-CG08        | Tectonics of Asian Continent          | 110 | 50    |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 301A | BG-21         | 光エネルギーを巡る進化                           | 110 | 80    | どのセッションも適度な質疑応答があり、時には討論も行われていた。                                       |
| 5/26 | PM2 | 301A | BG-21         | 光エネルギーを巡る進化                           | 110 | 65    | PM1 と同様であった。                                                           |
| 5/26 | AM1 | 301B | S-EM01        | Magnetic imaging and Modeling         | 130 | 45    |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | 301B | S-EM37        | 地球内部電磁気学                              | 130 | 70    | レーザーポインタの電池交換                                                          |
| 5/26 | PM1 | 301B | S-EM36        | 地磁気・古地磁気                              | 130 | 50~60 |                                                                        |
| 5/26 | PM2 | 301B | S-EM36        | 地磁気・古地磁気                              | 130 | 50~60 |                                                                        |
| 5/26 | AM1 | 302  | S-SS28        | 内陸地震                                  | 200 | 225   |                                                                        |
| 5/26 | AM2 | 302  | S-SS28        | 内陸地震                                  | 200 | 145   |                                                                        |
| 5/26 | PM1 | 302  | S-VC52        |                                       | 200 | 130   | 発表者によって参加人数のばらつきが大きい。                                                  |
| 5/26 | PM2 | 302  | S-VC52        |                                       | 200 | 100   | 立ち見の人が、電気のスイッチに触れてしまうアクシデントがあった。時間がたつにつれて参加人数現象(半減)                    |
| 5/26 | AM1 | 303  | P-PS23        | 気たる 10 年の月惑星探査                        | 200 | 100   |                                                                        |

|      |     |      |        |                                         |     |       |                                                                                                            |
|------|-----|------|--------|-----------------------------------------|-----|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/26 | AM2 | 303  | P-PS23 | 気たる10年の月惑星探査                            | 200 | 100   |                                                                                                            |
| 5/26 | PM1 | 303  | P-EM05 | Space Weather                           | 200 | 61    |                                                                                                            |
| 5/26 | PM2 | 303  | P-EM05 | Space Weather                           | 200 | 59    |                                                                                                            |
| 5/26 | AM1 | 304  | S-GC53 | 固体地惑化                                   | 160 | 24    |                                                                                                            |
| 5/26 | AM2 | 304  | U-04   | Global Data System                      | 160 | 27    | 質問者がマイクを必要としたときに、マイクの線が邪魔になってスムーズな受け渡しができていなかった、ワイヤレスのマイクがあればよいと思った。                                       |
| 5/26 | PM1 | 304  | U-04   | Global Data System                      | 160 | 25    |                                                                                                            |
| 5/26 | PM2 | 304  | U-04   | Global Data System                      | 160 | 20    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | 101  | P-PS01 | Jovian and Saturnian explosions         | 140 | 45    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 101  | P-PS01 | Jovian and Saturnian explosions         | 140 | 40    | P-PS01-09:話者不在<br>P-PS01-11:キャンセル<br>P-PS01-12:話者不在<br>P-PS01-13:キャンセル<br>P-PS01-14:話者不在<br>P-PS01-16:話者変更 |
| 5/27 | PM1 | 101  | P-PS04 |                                         | 140 | 70    | 人数はあまり変動しなかった。                                                                                             |
| 5/27 | PM2 | 101  | P-PS04 |                                         | 140 | 45    | 残りの発表が2件のみだったためか、人数は少なめだった。                                                                                |
| 5/27 | AM1 | 102  | A-CG34 | 海と陸-過去、現在、モデル                           | 140 | 50    | 会場の後方はほぼ満席で立ち見も6名程いたが、前方の席は20席程空いていた。                                                                      |
| 5/27 | AM2 | 102  | A-CG34 | 海と陸-過去、現在、モデル                           | 140 | 53    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 102  | A-HW24 |                                         | 140 | 42    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM2 | 102  | A-HW24 |                                         | 140 | 35    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | 103  | P-EM32 | 大気圏・電離圏                                 | 160 | 30    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 103  | H-DS04 | Natural Hazard in Asia                  | 160 | 44    | 陽気な発表が多かった。                                                                                                |
| 5/27 | PM1 | 103  | H-DS04 | Natural Hazard in Asia                  | 160 | 40    | スーツの人が多く厳粛(招待講演が多いため?)                                                                                     |
| 5/27 | PM2 | 103  | H-DS04 | Natural Hazard in Asia                  | 160 | 30    | PM1と比べて減少。                                                                                                 |
| 5/27 | AM1 | 104  | A-CG04 | Conti-Ocean Mut. Interact               | 160 | 18    | 参加者が少なかった為、何分か遅れて開始。AM1の2つのプレゼンテーションをAM2に移動(ACG04-15,-16)                                                  |
| 5/27 | AM2 | 104  | A-CG04 | Conti-Ocean Mut. Interact               | 160 | 18    | 10:30から開始                                                                                                  |
| 5/27 | PM1 | 104  | M-IS02 | Deep Carbon Cycle                       | 160 | 50    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM2 | 104  | M-IS02 | Deep Carbon Cycle                       | 160 | 40    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | 105  | A-CG32 | データ展覧会                                  | 160 | 30    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 105  | A-CG32 | データ展覧会                                  | 160 | 30    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 105  | A-CG32 | データ展覧会                                  | 160 | 40    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | IC   | P-PS22 | 太陽系小天体の科学                               | 300 | 15~30 | 裏でやっているセッション(P-PS01)と発表者が違う時間に入っていたり、聞きに行ったりしており、セッション構成によってはもっと人が増えるかも。                                   |
| 5/27 | AM2 | IC   | S-CG60 | ひずみ集中帯                                  | 300 | 130   |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | IC   | S-CG62 | ひずみ集中帯                                  | 300 | 130   |                                                                                                            |
| 5/27 | PM2 | IC   | S-CG62 | ひずみ集中帯                                  | 300 | 130   |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | 201A | A-EM02 | Atmospheric electricity and meteorology | 140 | 20    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 201A | A-CG35 | 陸域・海洋相互作用流域                             | 140 | 40    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 201A | A-HW26 | 水文地質と物質循環                               | 140 | 45    | 座長のコントロールうまく、どのセッションもほぼ時間通りに終了し開始していた                                                                      |
| 5/27 | PM2 | 201A | A-HW26 | 水文地質と物質循環                               | 140 | 26    | 適度な質疑応答がどのセッション後にあった。                                                                                      |
| 5/27 | AM1 | 201B | S-MP46 | 変形岩と変成岩                                 | 140 | 55    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 201B | S-MP46 | 変形岩と変成岩                                 | 140 | 60    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 201B | P-EM28 | 太陽圏                                     | 140 | 35    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 201B | P-EM28 | 太陽圏                                     | 140 | 40    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | 202  | P-EM07 | Inner magnetospheric physics            | 70  | 38    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 202  | P-EM07 | Inner magnetospheric physics            | 70  | 37    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 202  | A-GE03 | Mass Transport and Environ Assessment   | 70  | 29    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM2 | 202  | A-GE03 | Mass Transport and Environ Assessment   | 70  | 27    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM1 | 301A | S-SS24 | 地震予測                                    | 110 | 75    |                                                                                                            |
| 5/27 | AM2 | 301A | S-SS24 | 地震予測                                    | 110 | 75    |                                                                                                            |
| 5/27 | PM1 | 301A | M-SD04 | small satellites                        | 110 | 25    |                                                                                                            |

|      |     |      |                   |                                     |     |                     |                                                                                                                                                    |
|------|-----|------|-------------------|-------------------------------------|-----|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/27 | PM2 | 301A | M-SD04            | small satellites                    | 110 | 21                  | 講演の延長、質疑応答の延長により、結果的に 20 分延長しました。                                                                                                                  |
| 5/27 | AM1 | 301B | S-IT02            | Ocean<br>Lithosphere/Astosphere     | 130 | 53                  | S-IT02-04 に移る際、それまで発表では Win OS が使われていたのですが、Mac OS に変えました。その際、接続不良で開始まで 6 分かかりました。個人持ちだと調子の悪い PC が持ち込まれる場合があるので、確実に調子の良い PC を統一して使うなどしたほうが良いと思いました。 |
| 5/27 | AM2 | 301B | S-IT02            | Ocean<br>Lithosphere/Astosphere     | 130 | 90                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | PM1 | 301B | S-VC07            | Large Igneous Provinces             | 130 | 30                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | PM2 | 301B | S-VC07            | Large Igneous Provinces             | 130 | 18                  | 議論が活発                                                                                                                                              |
| 5/27 | AM1 | 302  | S-TT55/<br>S-SS26 | 地震観測処理システム/<br>地震活動                 | 200 | 80～<br>90/70～<br>80 | 開始時は 40 人ほどしか会場にいなかった。                                                                                                                             |
| 5/27 | AM2 | 302  | S-SS26            | 地震活動                                | 200 | 100～<br>110         |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | PM1 | 302  | S-SS25            | 地震発生の物理・震源過程                        | 200 | 115                 | 3 列シートの真ん中が空いていたが、後ろに立って並んでいる人が多かった。                                                                                                               |
| 5/27 | PM2 | 302  | S-SS25            | 地震発生の物理・震源過程                        | 200 | 65                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | AM1 | 303  | P-EM05            | Space Weather                       | 200 | 40～50               | 8:30 で 10 人ほど                                                                                                                                      |
| 5/27 | AM1 | 303  | P-EM05            | Space Weather                       | 200 | 40～50               | キャンセルで時間が余った分、議論の時間延ばした。                                                                                                                           |
| 5/27 | PM1 | 303  | P-EM05            | Space Weather                       | 200 | 50                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | PM2 | 303  | P-EM30            | 宇宙天気                                | 200 | 30                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | AM1 | 304  | U-03              | Venus Climate Orbiter<br>"AKATSUKI" | 160 | 45                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | AM2 | 304  | U-03              | Venus Climate Orbiter<br>"AKATSUKI" | 160 | 54                  |                                                                                                                                                    |
| 5/27 | PM1 | 304  | U-03              | Venus Climate Orbiter<br>"AKATSUKI" | 160 | 45                  | 和やかな雰囲気でした、                                                                                                                                        |
| 5/27 | PM2 | 304  |                   |                                     | 160 |                     | キャンセル                                                                                                                                              |



## 新 WEB 立ち上げ 報告

### リニューアル 連合トップページイメージ



## 義捐金執行方針

【義捐金総額】 194万577円 (6月1日現在 大会期間中 59万577円)

### 【義捐金執行方針について】

#### 8/4 富樫理事より情報提供

- ・放射線計測の専門家に聞いてみました。  
もし、中学高校の科学クラブが使用するのであれば  
秒単位の時定数であるGM管による空間線量率が計れるもので現在価格の3-4万円がよいだろう。  
感度の良いガンマ線の空間線量率測定のためシンチレーションカウンターは十万元以上数十万  
円のオーダーだそうです。  
また、半導体を用いた個人被爆量測定が目的の累積線量計は、長時間の測定が必要であり、空間  
線量率測定には向きません。  
なお、現在メーカーが量産体制にはいっており、入手の困難な現在が一番値段が高くなっており、  
秋から暮れにかけて入手しやすく、価格はかなり下がるであろうことです。

#### 8/2 坂野井キャリア支援委員会副委員長より情報提供

- ・線量計 (価格と、購入元、納期) について  
5月東北大学大学院理学研究科惑星プラズマ・大気研究センターにて購入実績  
日立アロカ PDM122: ~3万円/ヶ, 購入先: 東日本電子計測, 納期1.5ヶ月  
上海精博工貿 JB4020: ~5万円/ヶ, 購入先: 大学生協, 即納

#### 8/2 第2回理事会議事録議事録より

- ・第6号議案 義捐金執行方針について  
畠山理事よりニーズはあるがオファーが少ないという説明があった。  
教育問題検討委員会: 畠山理事) 経由で申し出のあった中学校に40万円程度、理科の器具を送  
ることが確認された。何を送るかについては畠山理事が調整し決めることになった。  
残りのお金で線量計を購入し、配布するなどの案が出された。金額などを調べどこに配布するか  
などを今後決めて行くことになった。

#### 6/9 第1回経営企画会議議事録より

- ・6月1日現在、義捐金総額194万577円(連合大会期間中の59万577円を含む)。
- ・集まった義捐金の執行方針について、どのような形で被災された方へ支援ができるかを検討した  
結果、学校教育(主に高校、中学の理科教育)への支援に多く同意が得られたので、今後、実態  
の把握、被災支援の具体的な方策 について、教育問題検討委員会下のチャンネルで調査・模索  
を依頼する。委員会に依頼するにあたり、追加で必要経費が発生する場合は、財務委員会へご相  
談してもらう。
- ・義捐金を使用するにあたり、経理的な科目は何になるか、会計士に確認しておく。
- ・その他の意見  
理科実験施設の備品の補助、公平性の考慮、緊急性(困っている度)の考慮、高校生セッションに  
参加していたなど連合と関わりのある高校への支援など。
- ・金額的にみて、5校位になってしまうのではないかと

## ジャーナル関連

6月9日 打ち合せ時資料抜粋

### 【 発行までの手順 例 】

1. 契約について
  - ① 出版社候補と出版条件の最終化
  - ② 契約書案
  - ③ 契約締結
2. 創刊準備及び発行スケジュールについて
  - ① 契約締結
  - ② Editorial Board
  - ③ Aims & Scope
  - ④ Journal title
  - ⑤ カバーデザイン
  - ⑥ 発行スケジュール
  - ⑦ 査読体制
  - ⑧ 原稿依頼と締め切り
  - ⑨ マーケティングプラン
  - ⑩ データベース申請計画

### 【 Open Access で掲載された論文の取扱いについて（ライセンス）の回答 】

・ Open Access ジャーナルの契約において、配信される論文はすべて Creative Commons の Attribution Noncommercial License に準拠。

-----  
回答メールより  
-----

さて、ご質問をいただきました、Open Access で掲載された論文の取扱いについて、ご報告致します。

私どもがご提案する open access ジャーナルについて、学会様と締結させていただくことになる弊社の契約書におきましては、Open Access で配信される論文はすべて Creative Commons の Attribution Noncommercial License に準拠致します。

Creative Commons - Attribution Noncommercial License

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc/2.5/legalcode> （下記参照）

上記ホームページの第3条 License Grant にございますとおり、Open Access で出版されました論文のプリント版を無償で配布することにつきましては問題ございません。

ただし、第4条 Restrictions セクション b の記載のとおり、商用目的にはお使いいただくことができません。

-----



CREATIVE COMMONS CORPORATION IS NOT A LAW FIRM AND DOES NOT PROVIDE LEGAL SERVICES. DISTRIBUTION OF THIS LICENSE DOES NOT CREATE AN ATTORNEY-CLIENT RELATIONSHIP. CREATIVE COMMONS PROVIDES THIS INFORMATION ON AN "AS-IS" BASIS. CREATIVE COMMONS MAKES NO WARRANTIES REGARDING THE INFORMATION PROVIDED, AND DISCLAIMS LIABILITY FOR DAMAGES RESULTING FROM ITS USE.

#### License

THE WORK (AS DEFINED BELOW) IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS CREATIVE COMMONS PUBLIC LICENSE ("CCPL" OR "LICENSE"). THE WORK IS PROTECTED BY COPYRIGHT AND/OR OTHER APPLICABLE LAW. ANY USE OF THE WORK OTHER THAN AS AUTHORIZED UNDER THIS LICENSE OR COPYRIGHT LAW IS PROHIBITED.

BY EXERCISING ANY RIGHTS TO THE WORK PROVIDED HERE, YOU ACCEPT AND AGREE TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS LICENSE. THE LICENSOR GRANTS YOU THE RIGHTS CONTAINED HERE IN CONSIDERATION OF YOUR ACCEPTANCE OF SUCH TERMS AND CONDITIONS.

#### 1. Definitions

- a. **"Collective Work"** means a work, such as a periodical issue, anthology or encyclopedia, in which the Work in its entirety in unmodified form, along with a number of other contributions, constituting separate and independent works in themselves, are assembled into a collective whole. A work that constitutes a Collective Work will not be considered a Derivative Work (as defined below) for the purposes of this License.
- b. **"Derivative Work"** means a work based upon the Work or upon the Work and other pre-existing works, such as a translation, musical arrangement, dramatization, fictionalization, motion picture version, sound recording, art reproduction, abridgment, condensation, or any other form in which the Work may be recast, transformed, or adapted, except that a work that constitutes a Collective Work will not be considered a Derivative Work for the purpose of this License. For the avoidance of doubt, where the Work is a musical composition or sound recording, the synchronization of the Work in timed-relation with a moving image ("synching") will be considered a Derivative Work for the purpose of this License.
- c. **"Licensor"** means the individual or entity that offers the Work under the terms of this License.
- d. **"Original Author"** means the individual or entity who created the Work.
- e. **"Work"** means the copyrightable work of authorship offered under the terms of this License.
- f. **"You"** means an individual or entity exercising rights under this License who has not previously violated the terms of this License with respect to the Work, or who has received express permission from the Licensor to exercise rights under this License despite a previous violation.

**2. Fair Use Rights.** Nothing in this license is intended to reduce, limit, or restrict any rights arising from fair use, first sale or other limitations on the exclusive rights of the copyright owner under copyright law or other applicable laws.

**3. License Grant.** Subject to the terms and conditions of this License, Licensor hereby grants You a worldwide, royalty-free, non-exclusive, perpetual (for the duration of the applicable copyright) license to exercise the rights in the Work as stated below:

- a. to reproduce the Work, to incorporate the Work into one or more Collective Works, and to reproduce the Work as incorporated in the Collective Works;
- b. to create and reproduce Derivative Works;
- c. to distribute copies or phonorecords of, display publicly, perform publicly, and perform publicly by means of a digital audio transmission the Work including as incorporated in Collective Works;
- d. to distribute copies or phonorecords of, display publicly, perform publicly, and perform publicly by means of a digital audio transmission Derivative Works;

The above rights may be exercised in all media and formats whether now known or hereafter devised. The above rights include the right to make such modifications as are technically necessary to exercise the rights in other media and formats. All rights not expressly granted by Licensor are hereby reserved, including but not limited to the rights set forth in Sections 4(d) and 4(e).

**4. Restrictions.** The license granted in Section 3 above is expressly made subject to and limited by the following restrictions:

- a. You may distribute, publicly display, publicly perform, or publicly digitally perform the Work only under the terms of this License, and You must include a copy of, or the Uniform Resource Identifier for, this License with every copy or phonorecord of the Work You distribute, publicly display, publicly perform, or publicly digitally perform. You may not offer or impose any terms on the Work that alter or restrict the terms of this License or the recipients' exercise of the rights granted hereunder. You may not sublicense the Work. You must keep intact all notices that refer to this License and to the disclaimer of warranties. You may not distribute, publicly display, publicly perform, or publicly digitally perform the Work with any technological measures that control access or use of the Work in a manner inconsistent with the terms of this License Agreement. The above applies to the Work as incorporated in a Collective Work, but this does not require the Collective Work apart from the Work itself to be made subject to the terms of this License. If You create a Collective Work, upon notice from any Licensor You must, to the extent practicable, remove from the Collective Work any credit as required by clause 4(c), as requested. If You create a Derivative Work, upon notice from any Licensor You must, to the extent practicable, remove from the Derivative Work any credit as required by clause 4(c), as requested.
- b. You may not exercise any of the rights granted to You in Section 3 above in any manner that is primarily intended for or directed toward commercial advantage or private monetary compensation. The exchange of the Work for other copyrighted works by means of digital file-sharing or otherwise shall not be considered to be intended for or directed toward commercial advantage or private monetary compensation, provided there is no payment of any monetary compensation in connection with the exchange of copyrighted works.
- c. If you distribute, publicly display, publicly perform, or publicly digitally perform the Work or any Derivative Works or Collective Works, You must keep intact all copyright notices for the Work and provide, reasonable to the medium or means You are utilizing: (i) the name of Original Author (or pseudonym, if applicable) if supplied, and/or (ii) if

the Original Author and/or Licensor designate another party or parties (e.g. a sponsor institute, publishing entity, journal) for attribution in Licensor's copyright notice, terms of service or by other reasonable means, the name of such party or parties; the title of the Work if supplied; to the extent reasonably practicable, the Uniform Resource Identifier, if any, that Licensor specifies to be associated with the Work, unless such URI does not refer to the copyright notice or licensing information for the Work; and in the case of a Derivative Work, a credit identifying the use of the Work in the Derivative Work (e.g., "French translation of the Work by Original Author," or "Screenplay based on original Work by Original Author"). Such credit may be implemented in any reasonable manner; provided, however, that in the case of a Derivative Work or Collective Work, at a minimum such credit will appear where any other comparable authorship credit appears and in a manner at least as prominent as such other comparable authorship credit.

d. For the avoidance of doubt, where the Work is a musical composition:

- i. **Performance Royalties Under Blanket Licenses.** Licensor reserves the exclusive right to collect, whether individually or via a performance rights society (e.g. ASCAP, BMI, SESAC), royalties for the public performance or public digital performance (e.g. webcast) of the Work if that performance is primarily intended for or directed toward commercial advantage or private monetary compensation.
- ii. **Mechanical Rights and Statutory Royalties.** Licensor reserves the exclusive right to collect, whether individually or via a music rights agency or designated agent (e.g. Harry Fox Agency), royalties for any phonorecord You create from the Work ("cover version") and distribute, subject to the compulsory license created by 17 USC Section 115 of the US Copyright Act (or the equivalent in other jurisdictions), if Your distribution of such cover version is primarily intended for or directed toward commercial advantage or private monetary compensation.

e. **Webcasting Rights and Statutory Royalties.** For the avoidance of doubt, where the Work is a sound recording, Licensor reserves the exclusive right to collect, whether individually or via a performance-rights society (e.g. SoundExchange), royalties for the public digital performance (e.g. webcast) of the Work, subject to the compulsory license created by 17 USC Section 114 of the US Copyright Act (or the equivalent in other jurisdictions), if Your public digital performance is primarily intended for or directed toward commercial advantage or private monetary compensation.

## 5. Representations, Warranties and Disclaimer

UNLESS OTHERWISE MUTUALLY AGREED TO BY THE PARTIES IN WRITING, LICENSOR OFFERS THE WORK AS-IS AND MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES OF ANY KIND CONCERNING THE WORK, EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTIBILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, NONINFRINGEMENT, OR THE ABSENCE OF LATENT OR OTHER DEFECTS, ACCURACY, OR THE PRESENCE OF ABSENCE OF ERRORS, WHETHER OR NOT DISCOVERABLE. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO SUCH EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.

**6. Limitation on Liability.** EXCEPT TO THE EXTENT REQUIRED BY APPLICABLE LAW, IN NO EVENT WILL LICENSOR BE LIABLE TO YOU ON ANY LEGAL THEORY FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE OR EXEMPLARY DAMAGES ARISING OUT OF THIS LICENSE OR THE USE OF THE WORK, EVEN IF LICENSOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## 7. Termination

- a. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically upon any breach by You of the terms of this License. Individuals or entities who have received Derivative Works or Collective Works from You under this License, however, will not have their licenses terminated provided such individuals or entities remain in full compliance with those licenses. Sections 1, 2, 5, 6, 7, and 8 will survive any termination of this License.
- b. Subject to the above terms and conditions, the license granted here is perpetual (for the duration of the applicable copyright in the Work). Notwithstanding the above, Licensor reserves the right to release the Work under different license terms or to stop distributing the Work at any time; provided, however that any such election will not serve to withdraw this License (or any other license that has been, or is required to be, granted under the terms of this License), and this License will continue in full force and effect unless terminated as stated above.

## 8. Miscellaneous

- a. Each time You distribute or publicly digitally perform the Work or a Collective Work, the Licensor offers to the recipient a license to the Work on the same terms and conditions as the license granted to You under this License.
- b. Each time You distribute or publicly digitally perform a Derivative Work, Licensor offers to the recipient a license to the original Work on the same terms and conditions as the license granted to You under this License.
- c. If any provision of this License is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this License, and without further action by the parties to this agreement, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.
- d. No term or provision of this License shall be deemed waived and no breach consented to unless such waiver or consent shall be in writing and signed by the party to be charged with such waiver or consent.
- e. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the Work licensed here. There are no understandings, agreements or representations with respect to the Work not specified here. Licensor shall not be bound by any additional provisions that may appear in any communication from You. This License may not be modified without the mutual written agreement of the Licensor and You.

Creative Commons is not a party to this License, and makes no warranty whatsoever in connection with the Work. Creative Commons will not be liable to You or any party on any legal theory for any damages whatsoever, including without limitation any general, special, incidental or consequential damages arising in connection to this license. Notwithstanding the foregoing two (2) sentences, if Creative Commons has expressly identified itself as the Licensor hereunder, it shall have all rights and obligations of Licensor.

Except for the limited purpose of indicating to the public that the Work is licensed under the CCPL, neither party will use the trademark "Creative Commons" or any related trademark or logo of Creative Commons without the prior written consent of Creative Commons. Any permitted use will be in compliance with Creative Commons' then-current trademark usage guidelines, as may be published on its website or otherwise made available upon request from time to time. Creative Commons may be contacted at <http://creativecommons.org/>.

## ※Creative Commons Licens

ウェブ上で行われているプロジェクト、またそれを実施する非営利団体が定義するライセンスで、法的手段を利用して出版物の創造、流通、検索の便宜をはかっている。

クリエイティブ・コモンズ・ライセンスでは、著作権者の表示・非営利目的の利用限定・改変の制限・派生物に対するライセンスの継承、の4項目があり、作品の製作者はこれら条件の採否を選択し、その作品を利用する者はそれに従うかたちをとる。具体的には次のとおりである。

|                                                                                   |                                          |                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>表示</b><br>(Attribution, BY)           | 作品を複製、頒布、展示、実演を行うにあたり、著作権者の表示を要求する。                                          |
|  | <b>非営利</b><br>(Noncommercial, NC)        | 作品を複製、頒布、展示、実演を行うにあたり、非営利目的での利用に限定する。                                        |
|  | <b>改変禁止</b><br>(No Derivative Works, ND) | 作品を複製、頒布、展示、実演を行うにあたり、いかなる改変も禁ずる。                                            |
|  | <b>継承</b><br>(Share Alike, SA)           | クリエイティブ・コモンズのライセンスが付与された作品を改変・変形・加工してできた作品についても、元になった作品のライセンスを継承させた上で頒布を認める。 |

これらのうち、「改変禁止」と「継承」は同時に採用できない。またすべてを採用しないことはできず、2.0以降のバージョンでは「表示」を採用することが必須条件となる。従って、実際にあり得る組み合わせは次の6通りで、コピーライト（法律で定められている全ての権利の保持）からパブリックドメイン（すべての権利の放棄）の間に位置する、強さの異なる6つのライセンスを用意している。

- ・ 表示 (CC BY)
- ・ 表示-改変禁止 (CC BY-ND)
- ・ 表示-継承 (CC BY-SA)
- ・ 表示-非営利 (CC BY-NC)
- ・ 表示-非営利-改変禁止 (CC BY-NC-ND)
- ・ 表示-非営利-継承 (CC BY-NC-SA)



## 商標登録について

(定義等)

第二条 この法律で「商標」とは、文字、図形、記号若しくは立体的形状若しくはこれらの結合又はこれらと色彩との結合（以下「標章」という。）であつて、次に掲げるものをいう。

- 一 業として商品を生産し、証明し、又は譲渡する者がその商品について使用をするもの
- 二 業として役務を提供し、又は証明する者がその役務について使用をするもの（前号に掲げるものを除く。）

### ・商標登録の必要性

JPGU (JpGU) の使用の継続のため、他者との混同を回避するため  
(※大文字と小文字の区別はなし)

### ・商標登録にかかる費用

特許庁に支払う印紙代

- 出願時の基本特許印紙代：3,600 円
- 出願時の区分毎の印紙代：8,400 円
- 5 年分の特許印紙代（一区分当たり）：21,900 円
- 10 年分の特許印紙代（一区分当たり）：37,600 円

出願代理手数料（特許事務所に依頼した場合の費用）  
調査費，出願手数料，成功報酬等で 15 万円前後  
国際出願をする場合には更に手数料が発生する

### ・区分について

区分：商品やサービスの分類  
JpGU の場合、基本的には 41 類での出願が考えられる  
(※弁理士と要相談)

### ・期間について

申請～認定まで半年前後必要

### ・図形について

文字列のみと文字列＋図形は別出願となる  
文字列＋図形のみで申請した場合は、他者の図形のみ、文字列のみの使用に対して効力がない  
文字列のみの申請についても、他者の文字列＋図形の使用に対して効力がない  
図形の申請をする場合は、類似が多数ある可能性があり、また調査に時間と費用がかかる可能性がある  
(※弁理士と要相談)

ケース 1：日本地形学連合

- (111) 【登録番号】 第 2 7 1 8 7 5 5 号
- (151) 【登録日】 平成 8 年（1996）12 月 25 日
- (260) 【公告番号】 平 7－1 3 3 6 1 2
- (442) 【公告日】 平成 7 年（1995）12 月 15 日
- (210) 【出願番号】 商願平 2－5 0 2 0 0
- (220) 【出願日】 平成 2 年（1990）5 月 2 日
  - 【先願権発生日】 平成 2 年（1990）5 月 2 日
  - 【更新申請日】 平成 18 年（2006）12 月 13 日
- (156) 【更新登録日】 平成 18 年（2006）12 月 19 日
- (180) 【存続期間満了日】 平成 28 年（2016）12 月 25 日
  - 【拒絶査定発送日】 平成 4 年（1992）4 月 24 日



【商標（検索用）】 JGU∞日本地形学連合\JAPANESE GEOMORPHOLOGICAL UNION

- (541) 【標準文字商標】
- (561) 【称呼】 ジェイジユウ，ニッポンチケイガクレンゴウ，ジャパニーズジオモルフォロジカルユニオン
- (531) 【ウィーン図形分類】 26.1.1; 26.1.3; 26.1.12; 26.11.3; 26.11.12

(732) 【権利者】  
【氏名又は名称】 鈴木 隆介  
【住所又は居所】 東京都国分寺市富士本1丁目26番地25

-----  
【付加情報】

(641) 【重複番号】  
【審判番号】 平4-10288  
【審判種別】 査定不服審判  
【審判請求日】 平成4年(1992)5月25日  
【書換登録申請番号】 書換2006-523714  
【書換登録日】 平成19年(2007)4月11日  
【旧類】 26

-----  
【類似群】 26A01 26B01 26C01 26D01

【国際分類版表示】 第8版

(500) 【区分数】 5

(511)(512) 【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】

6 金属製彫刻 16 印刷物, 書画, 写真, 写真立て  
9 映写フィルム, スライドフィルム, スライドフィルム用マウント, 録画済みビデオディスク及びビデオテープ  
19 石製彫刻, コンクリート製彫刻, 大理石製彫刻 20 額縁, 石こう製彫刻, プラスチック製彫刻, 木製彫刻

ケース2: 日本EUC学会

(111) 【登録番号】 第5358304号  
(151) 【登録日】 平成22年(2010)10月1日  
(210) 【出願番号】 商願2010-36471  
(220) 【出願日】 平成22年(2010)5月11日  
【先願権発生日】 平成22年(2010)5月11日

-----  
【商標(検索用)】 JSEUC∞日本EUC学会\Japan Society for End User Computing

(541) 【標準文字商標】

(561) 【称呼】 ジェイエスアイユウシイ, ニッポンイイユウシイガッカイ, ニッポンイイユウシイ, イイユウシイガッカイ, イイユウシイ, ジャパンソサエティーフォーエンドユーザーコンピューティング, ソサエティーフォーエンドユーザーコンピューティング, エンドユーザーコンピューティング

(531) 【ウィーン図形分類】 26.2.5; 26.7.25; 27.5.1.3; 27.5.5; 27.5.21

-----  
(732) 【権利者】  
【氏名又は名称】 若宮 俊司

-----  
【類似群】 41A01 41A03 41C02 41C03 41D01 41M06

【国際分類版表示】 第9版

(500) 【区分数】 1

(511)(512) 【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】

41 知識の教授, 学会・セミナー・シンポジウム・講習会・研修会・討論会の企画・運営又は開催若しくはこれらに関する情報の提供, 電子出版物の提供, 図書及び記録の供覧, 美術品の展示, 書籍の制作, レコード又は録音済み磁気テープの貸与, 録画済み磁気テープの貸与



## 【経費】

15-25 万円 (リサーチ、申請手続き、申請費用)

## 【完了まで期間】

約6カ月



## 公益認定申請状況

申請書提出 8/12

### 【今後のスケジュール概要】

1. 申請書の審査（～9月第2週メド） 9/21 完了連絡  
↓
2. 常勤委員会議  
↓
3. 委員会諮問  
↓
4. 委員会答申（12月第2週を目標）  
↓
5. 認定処分

### 【8/22 担当者からの申請受理メール】（内閣府公益認定等委員会事務局 松浦）

8月12日付申請いただいた公益認定申請につきまして、小職が担当をさせていただくこととなりました。今後何かとお世話になるかと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。  
先程お話しさせていただいたとおり、今後のスケジュール概要についてご連絡申し上げます。

申請を受けてから認定処分までの標準処理期間を 4 か月としておりますので、委員会答申につきまして 12月第2週を当面の目標とさせていただきました。  
ただし、審査や委員会の結果次第では若干前後させていただくこともありますのでご承知置き下さい。

また「5. 認定処分」につきましては、貴法人の意向に沿う形で進めて参りたいと思えます。  
出来る限り速やかな処分をとのことでしたので、その意向に沿う形で審査の方進めて参りたいと思えます。

今後、もし処分の希望日等発生致しましたらお手順をお掛けしますが、小職までご一報いただければ幸甚と存じます。

申請書の審査以降のスケジュールについては、審査が終了した段階でまたご連絡させていただきたいと思えます。

### 【9/21 公益認定申請に係る審査結果（確認事項連絡）】

#### ■別表2（公益）[1]

「1-3. 地球惑星科学関連の一般公開セミナーの展開」の記載の中で、「一般公開セミナー」は「連合大会」期間中（「一般公開プログラム」とそれ以外の時期に随時開催されるものの2つに分類されるとありますが、随時開催されるものについての記載が23年度事業計画にありませんが、どの程度開催を予定していますでしょうか。また、参加費の有無・金額等はどのようになっていますでしょうか。

#### ■別表2（公益）[1]

「3. 地球惑星科学コミュニティの意見集約と国および社会一般への諸要請への対応」について、過去にどのような提言を行い、どのように公益の増進に繋がったのか、事例等はございますでしょうか。

#### ■別表2（公益）[1]

「5. 地球惑星科学知見の社会還元」について、過去にどのような提言を行ったか、事例等はございますでしょうか。

■別表 C (1) 1 公益目的保有財産

2「什器備品」の期末時点の帳簿価額が 0 円となるのは減価償却が終了したためという理解でよろしいでしょうか。

■別表 G

次の科目について、それぞれ経費の内容と積算内訳をご教示下さい。

①臨時雇用賃金、②会議費、③印刷製本費、④賃借料、⑤設営費、⑥支払手数料、⑦支払賛助金、⑧委託費

■別表 G

基本財産（500 万円）の運用益はどこに計上されているのでしょうか。

雑収益として法人会計に 10,000 円を計上されておりますが、基本財産の運用益はこの雑収益に該当するのでしょうか。

■報酬基準

社員総会が別に定める役員等の報酬規程について送付下さい

■その他

代議員制について、設立時当初の社員 52 名は代議員ではなく、正会員であり、その後平成 21 年 12 月 14 日に定款を一部改正し、代議員制を設け、定款に定める代議員の選出方法に基づき代議員選挙を行い、現在に至ると解してよろしいのでしょうか。